県立鳥取中央育英高等学校普通教室棟高架水槽更新工事

	図 面 リ ス ト	
図番	図 面 名 称	縮尺
M - 01	表紙・図面リスト	NS
M - 02	機械設備工事特記仕様書 (1)	NS
M - 03	機械設備工事特記仕様書 (2)	NS
M - 04	配置図・付近見取図	1/1,000
M - 05	普通教室棟 R階平面図(改修後)・(改修前)	1/100



一級建築士事務所

鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承 認

管理技術者

担 当

作 図

縮尺 NS 設計年月日

県立鳥取中央育英高等学校普通教室棟高架水槽更新工事 図面名称 表紙・図面リスト

図面番号 M-01

機械設備工事特記仕様書

I. エ 事 概 要

1 工事場所 東伯郡北栄町由良宿

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階 数	建築基準法による 延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	教室棟	RC	1	2, 140. 5	()項	
2					()項	
3					()項	
4					()項	
5					()項	

3 工事種目 (● 印の付いたものが対象工事種目)

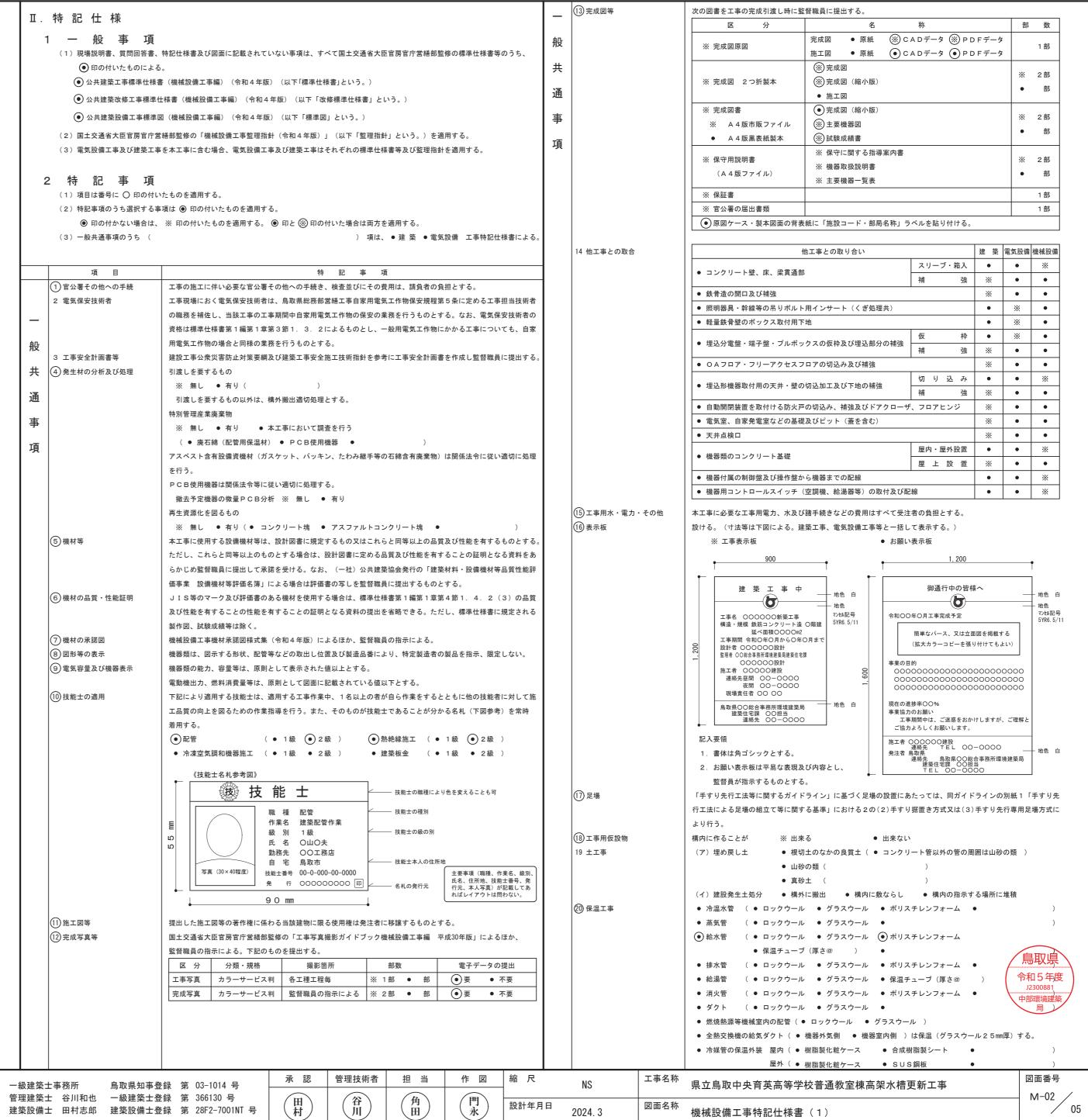
番 号 工事種目	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空気調和設備							
● 冷暖房設備							
● 換気設備							
● 排煙設備							
● 自動制御設備							
● 衛生器具設備							
● 給水設備	0						
● 排水設備							
● 給湯設備							
● ガス設備							
● 浄化槽設備							
● 消火設備							
● さく井設備							
● 電気設備工事							
● 建築工事							

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。) の 印の付いたものを適用する。

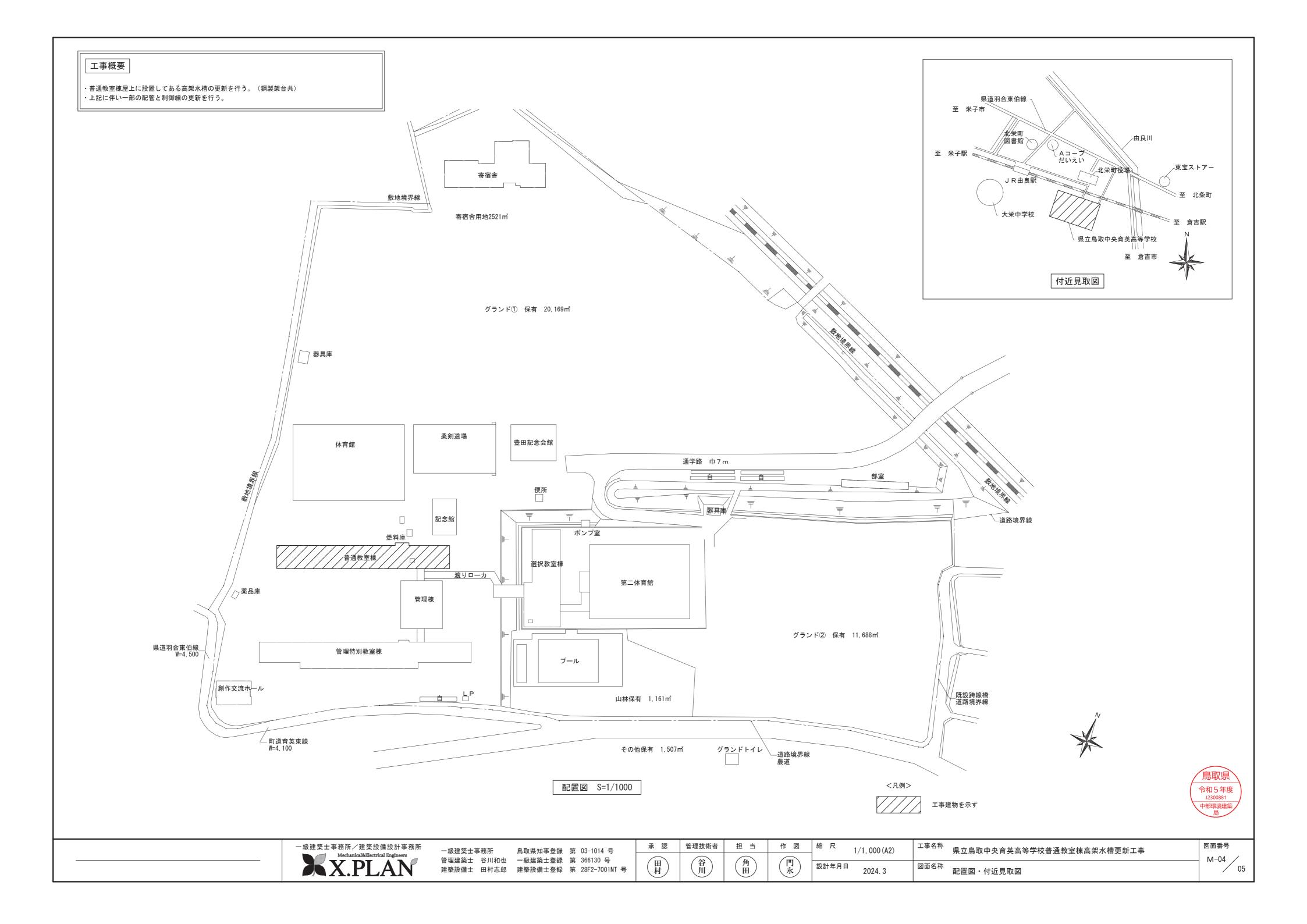
● 印の付	いたものを適用する。
項目	設備概要
● 空気調和設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
空 気 ● 暖房設備調	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房(● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
和	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
冷暖 房房設備 ● 主要熱源機器	 銅製ボイラー チリングユニット スクリュー冷凍機 遠心冷凍機 吸収式冷凍機 が形吸収式冷温水機ユニット バイオマスボイラー ヒートポンプパッケージエアコン(マルチタイプ・有・無) 温風暖房機 手F暖房機 真空式温水発生機 吸収式冷凍機 小形吸収式冷温水機ユニット ルームエアコン
換気設備	 第一種 第二種 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式
	水源 ● 井水
	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水)
	汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
● 排水設備	放 流 先 雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
	雨 水 ◆ 公共下水道 ◆ 側溝 ◆ 河川
衛 生 設	処理方式 ● 小規模合併 ● 合併
設 備 	処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消火設備	 屋内消火栓 屋外消火栓 連結送水管 連結散水 スプリンクラー 泡消火 粉末消火装置 不活性ガス消火(●窒素 ●窒素系 ●) ハロゲン化物消火
 ガス設備	● 都市ガス (MJ/Nm3) ● 液化石油ガス

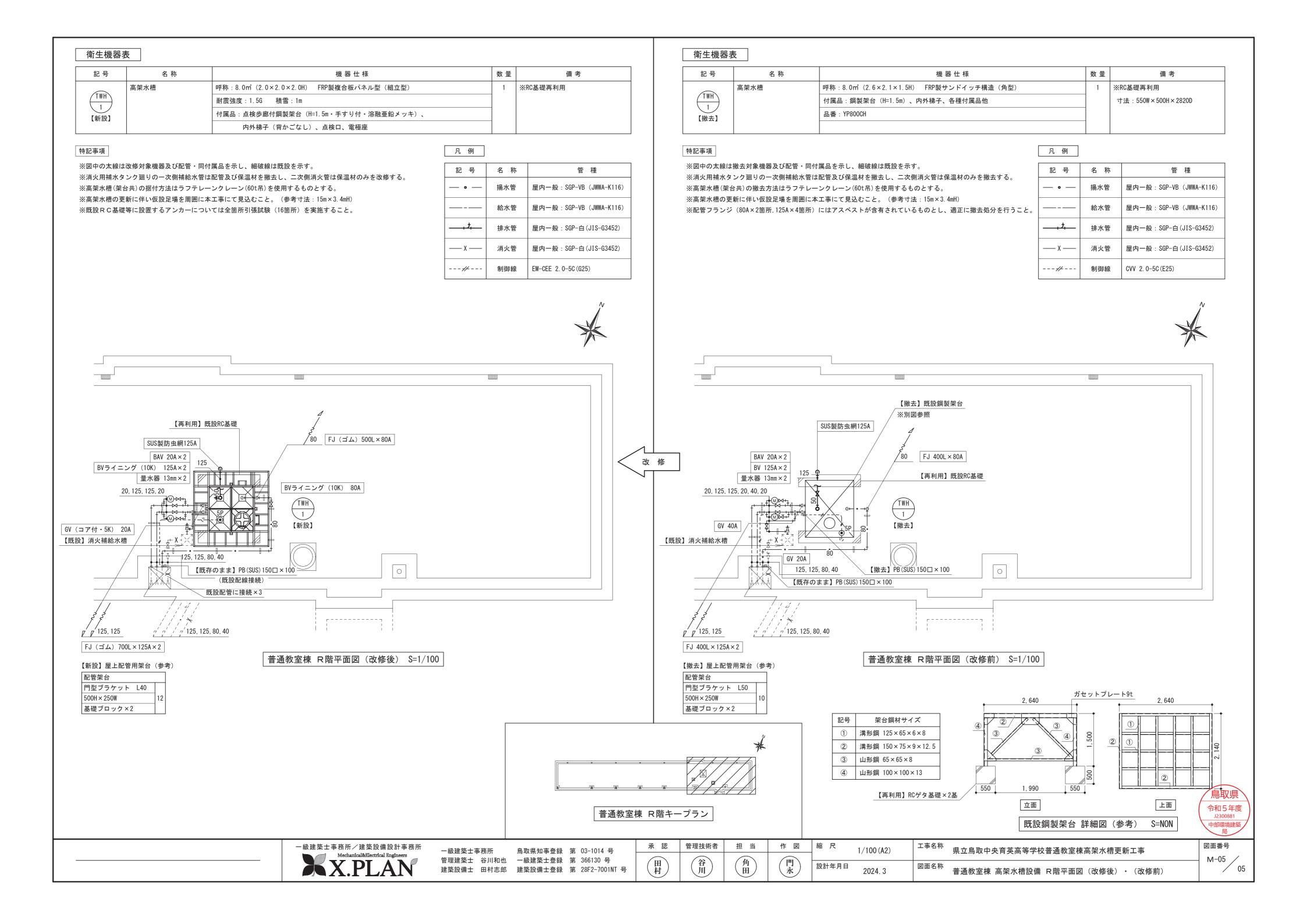
一級建築士事務所/建築設備設計事務所

Mechanical&Electrical Engineers



21 鋼管類の防食処置	地中埋設 ● ペトロラタム系 ● ブチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート		1 設計用温湿度条件		Т	1 衛生器具の参考型番	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。
21 興官類の防良処直 22 絶縁継手	 地中建設 ● ハトロフダム系 ● フテルコムネ ● 熱収船アユーノ及びシート ● 標準図(施工3) ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン 	1 1	設計用過速及米件	室 内 (調整目標値) 外気条件	6	1 単生器具の参考型番	空角変更寺により参考空角が変更又は廃止されている場合、参考空角の向寺品とする。 ※ 小便器一体型 ● 小便器分離型
23 防振継手	※ 合成ゴム製 (球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形 (ステンレス製)	空		一般 ()	衛		● 洗浄水量 4 リットル/回以下
24 伸縮管継手	※ ベローズ形 ● スリーブ形	気調		温度 湿度 湿度 湿度 湿度 湿度	生 器		※ 個別感知方式 (● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式
25 塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。 (さび止め塗装は除く。)	和		(DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH)	具	3 自動水栓	電源供給方式 ◆ A C電源 ◆ 自己発電 ◆ 乾電池
	(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面	横		冬季 °C % 19.0 °C %	横	4 大便器洗浄弁	操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)
	(ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類	1			1		● 手動式
	(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面	2	2 冷却水管	※ SGP (白) • SGP-VA • SGP-PA	1	5 温水洗浄便座	洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式
	(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウムー亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面	冷 3	3 冷水・温水・冷温水管	※ S G P (白) ● S G P − H V A ● ステンレス鋼管 (SUS304)		6 器具と排水管接続	※ 標準図(施工64) ● 標準図(施工65)
	(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 (ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管	暖	4 膨張・空気抜・補給水管	 ◆ 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ◆ ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る) ※ S G P (白) ◆ ステンレス鋼管(SUS304) 	7	1 量水器	親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示)・子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)
	 ◆ 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所() 	佐	5 蒸気給気管	※ S G P (黒)	給	②配管材料	(ア)-般配管 (●) SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316
 26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322を満足するものとする。	備 6	6 蒸気還水管	※ STPG370-Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)	水		◆ HIVP◆ 架橋ポリエチレン管
27 溶接配管の検査	● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管	7	7 油・油用通気管	一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管	設		(イ)土間下配管 ◆ SGP-VD ◆ SGP-PD ◆ HIVP ◆ SUS304 ◆ SUS31
	非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)	3 8	8 冷媒管	※ 断熱材被覆銅管	備		(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS31
	抜 取 率(● 標準仕様書による ● %	換 9	9 空調用給水管	● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ●	1		◆ 水道配水用ポリエチレン管(75~100A)◆ 水道用ポリエチレン二層管(50A以下
28 埋設表示	● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。	≕几	10 空調用排水管	※ SGP (白) ● VP	1		(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
	 ● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●) 	備	11 弁類	※5K • 10K	1		(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合 (直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)
(29) 支持金物・固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。	1	12 ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。	1	(A) ##	(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※ 融着継手
(30) 総合試運転調整	屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。	13	13 ダンパー	(ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、O. 7A以下とする。) (イ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●	1	(3) 弁類	※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。● 10K(公営水道に直結する配管に使用)
000 松日 既 建 和 问 走	● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質	14	14 ダクト	(1) CATO (2) A Management	1		 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)
	 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質 ● 一般飲料水適否検査 ●) 		-	● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法)	1	4 水槽のマンホール	屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。
	その他水質等(● 雑用水 ● 空調用流体 ●)		!	(長辺 1 5 0 0 mmを超えるものはアングルフランジエ法とする。)		1 配管材料	(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管
31 アスベスト含有建材の処理			1	● アングルフランジ工法	8		(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管
	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		!		排		● 耐火二層管
	建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲	15	15 吹出口・吸込口	ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製	水		(ウ)ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● HIVP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水鋼管用継手)
		16	16 チャンバー等	シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。	設		(エ)通気管 ◆ VP ◆ RF-VP ◆ SGP(白) ◆ 排水用塩ビライニング鋼管
			!	接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。	∦ 備		(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU (地中) ● REP-VU (地中)
	※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。		!	線状吹出口には、(長さ+100)× 300 × 300 Hの接続チャンバーを設ける。		Q 洪ル≒時00mm	● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管 3 時以上にわた Z 世 水 節 立 ご 節 と 計除継 また
	※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する 法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。	1 17	17 消音内貼り	外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。	1	2 満水試験継手 3 パイプシャフト内配管の保温	3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
	本律、石神障害 P 的 別別、 鳥 収 宗 石 神 健 康 敬 音 的 正 宋 例 寺 の 関 床 広 节 に 奉 り い で 1		7 用目内的 9	内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。	1	3 ハイフシャフト内配官の床/画 4 煙試験	※ 売上りる
	分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。	1	!	吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口(原則400×600)を取付ける。		1 配管材料	 SGP-HVA ステンレス鋼管 架橋ポリエチレン管
	● アスベスト粉じん濃度測定を行う。	18	18 瞬間流量計及び流量測定口	形式はピトー管式 (コック付) とする。	9		● 保温付被覆銅管 ● 銅管
	(測定時期: 測定場所: 測定点:)	1		下記の箇所、若しくは図示により取付ける。	給		湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
	● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。	1	!	◆ 冷凍機類の冷水出口◆ 瞬間流量計◆ 冷凍機類の冷却水出口◆ 瞬間流量計◆ 測定用タッピング	設	2 弁類	% 5 K • 1 0 K
	● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。	1	!	 ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	備		
(A) 10/15/10	対象箇所()	1		● 冷温水へッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング	10	1 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG
(32) 補修など 33 はつり	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	1		● ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング	当		(イ)土間下配管 ◆ SGP-VS ◆ STPG-VS
33 は フリ	成代のコングリート床、壁などの配官員通命の八開けば、原則としてダイヤモントガッダーによる。 探査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査	19	19 定風量・変風量ユニット	● メカニカル形 ● 風速センサー形	火	2 弁類	(ウ)地中配管 ◆ SGP-VS ◆ STPG-VS ※ 10K ◆ 16K
35 室内空気中の化学物質の濃度測定			20 温度計	機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計		3 保温	(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する
③6) 火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。	21	21 冷温水管の空気抜き	空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。	備		(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する
	(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)	1	!	※ 手動 ● 自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))	1		(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・WIによる)
37 グリーン購入	グリーン購入は次のもとのする。	1	!	機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。	1		● 屋内消火栓用(※ 施工しない ●施工する) ● スプリンクラー用(※ 施工しない ●施工する)
	● 空調用機器() ● 衛生器具() 	22	22 空調機用トラップ	トラップ形式はフロートボール式 (床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製	1		● 連結送水用 (※ 施工しない ●施工する) ● 連結散水用 (※ 施工しない ●施工する)
	断熱材 () ● 配管材 (● 再生硬質ポリ塩化ビニル管) 	23	23 鋼板製煙道	材質及び厚さ ● SS400(※3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※1.5mm ● 2.0mm)	1	4 屋内消火栓	● 広範囲型 2 号消火栓 ● 易操作性 1 号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1 号 ● 2 号)
38 鳥取県公共工事環境配慮指針	● その他 () 対象工事	1	!	煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける	1	5 ガス系消火剤の種類 6 ガス系消火の起動方式	● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23 ※ 手動 ● 自動手動切替式
39 建築物省工ネ法	対象工事	1		煤じん量測定口 (80 φ × 2) ※ 取付ける ● 取付けない	\vdash	1 都市ガス設備	※ ナ助 ● 自助ナ助切合式 都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
(40) 耐震施工	パネエザ 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造	1	24 オイルサービスタンク	油面計はゲージ式(側圧計)とする。	11	2 配管材料	(ア)一般配管 ※ S G P (白) ● 合成樹脂被覆鋼管
	者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。	25	25 地下オイルタンク	据付け方法 ● 標準図 (施工32) (二重殼タンク・タンク室無し) ● 標準図 (施工33) (タンク室有り)	ガ		(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
	(1)機器の据付け及び取付け		!	タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト	ス		(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管
	設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)[kN]に、		!	基礎杭	設	3 ガスメータ	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)
	地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。		!	工笛の工事	備		● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)
	設計用標準水平震度	26	26 油面制御装置	油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●	1	4 バルク貯槽	● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取
	設直場所 機器	1	27 フィルター等付属品	機器表特記による。		5 容器廻りの配管	標準図(施工73)の要額(a)要額(b)要額(c)
	上 暦 階 屋上、塔屋 防振設置機器 2.0 2.0 1.5		!	● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。	1	6 容器転倒防止	標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b)不亜 ■ 亜 (※ 別途T事 ■ ★T事)
	水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0 機 器 1.5 1.0 0.6	28	28 パッケージ空調機の能力表示	インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。	\vdash	7 カス漏れ警報器 1 処理種別及び方式	 ・ 不要 ・ 要(※ 別途工事 ・ 本工事) ・ 小規模合併処理(● 分離接触ばっ気方式 ・ 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ・ 脱窒ろ床接触ばっ気方式
	中間階 防振設置機器 1.5 1.5 1.0	\vdash	29 防振吊り及び支持金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	12	・ ベーエコエバス ひりり	 → 小放保品研究性(● 方離按照はつ気方式 ● 無気の体接触はつ気方式 ● が至り体接触はつ気方式 () ● その他性能評価を受けた方式 ()
	水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6	I ⁺	1 ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製 (厚1.6mm)	浄		● 合併処理 (● 接触ばつ気方式 ● 長時間ばつ気方式 ● 回転板接触方式)
	機 器 1.0 0.6 0.6 0.4	排 恒 2	2 排煙口	形状 ◆ パネル形 ◆ スリット形 ◆ ダンパー形 取付け ◆ 天井取付 ◆ 壁取付	化	2 型式	● ユニット型● 現場施工型
	水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6	1 記	3 排煙口開放及び復帰方式	取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要)	槽	3 処理能力	● 処理対象人員
	上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層2階、10~12階建:上層3階、13階建以上:上層4階	▮ 備 │	3 排煙口用放及び復帰力式4 排煙風量測定	■ 电双式 (遠崎採打 ※ 小女 ● 女) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。	設	4 放流水の水質	◆ 流入BOD 200mg/L◆ 放流水質BOD 20mg/L以下
	中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	\vdash	1 中央監視制御盤装置	● 有り(構成機能は、図示による)● 無し	備	_ 18.1.1.5	● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下
	重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置	1 2	2 電源装置	● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要	1	5 排水方式	※ 自然流下 ● ポンプ排水
	● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む)	動 3	3 温度調節器等	取付高さ ※ 1300mm ● mm	1	6 埋戻し土	● 砂 ● 根切土の中の良質土
		1 制 .	4 計装工事の配線	● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。		7 土留め工事	● 不要● 要(図示による)※ 製造者標準仕様(ロック式)● MHA型(ボルト式)鳥取場
	● () (2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	御 4	·	1	1		- WHID王 (中水上が)
	● () (2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3)設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年	御出	ı	● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。	1	9 消毒薬	3ヶ月相当分を納入する。
	(2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	#####################################	ı	● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。		9 消毒薬	J2300881
	(2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の 1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3)設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年	海 設 備 ——————————————————————————————————		● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。		9 消毒薬	J2300881
	(2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の 1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3)設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年	海 設 備		● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。		9 消毒薬	J2300881 中部環境建
	(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の 1 / 2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」((一財)日本建築センター)を参考にする。 - 級建築士事務所/建築設備設計事務所	御設備 4 建築士	事務所 鳥取県知事名	 ● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 登録 第 03-1014 号 承 認 管理技術者 担 当 作 図 縮 尺 		9 消毒薬 NS 工事名称	
	(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」((一財)日本建築センター)を参考にする。 -級建築士事務所/建築設備設計事務所 Mechanical&Electrical Engineers	御設備	事務所 鳥取県知事營☆川和也 一級建築士營田村志郎 建築設備士營	登録 第 03-1014 号 登録 第 366130 号 田 谷 角 門 歌出生		⊤車を称	月2300881 中部環境通 局





県立鳥取中央育英高等学校情報処理室ほかエアコン更新工事

	図 面 リ ス ト	
図番	図 面 名 称	縮尺
M - 01	表紙・図面リスト	NS
M - 02	機械設備工事特記仕様書 (1)	NS
M - 03	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M - 04	配置図・付近見取図	1/1,000
M - 05	管理特別教室棟 冷暖房設備 1階平面図(改修後)	1/100
M - 06	管理特別教室棟 冷暖房設備 2・3階平面図(改修後)	1/100
M - 07	管理特別教室棟 冷暖房設備 1階平面図(改修前)	1/100
M - 08	管理特別教室棟 冷暖房設備 2・3階平面図(改修前)	1/100
E - 01	管理特別教室棟 空調機電源設備 1階平面図(改修後)	1/100





一級建築士事務所

鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承 認



管理技術者



機械設備工事特記仕様書

I. エ 事 概 要

1 工事場所 東伯郡北栄町由良宿

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階 数	建築基準法による 延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	管理特別教室棟	RC	3	2, 580. 8	()項	
2					()項	
3					()項	
4					()項	
5					()項	

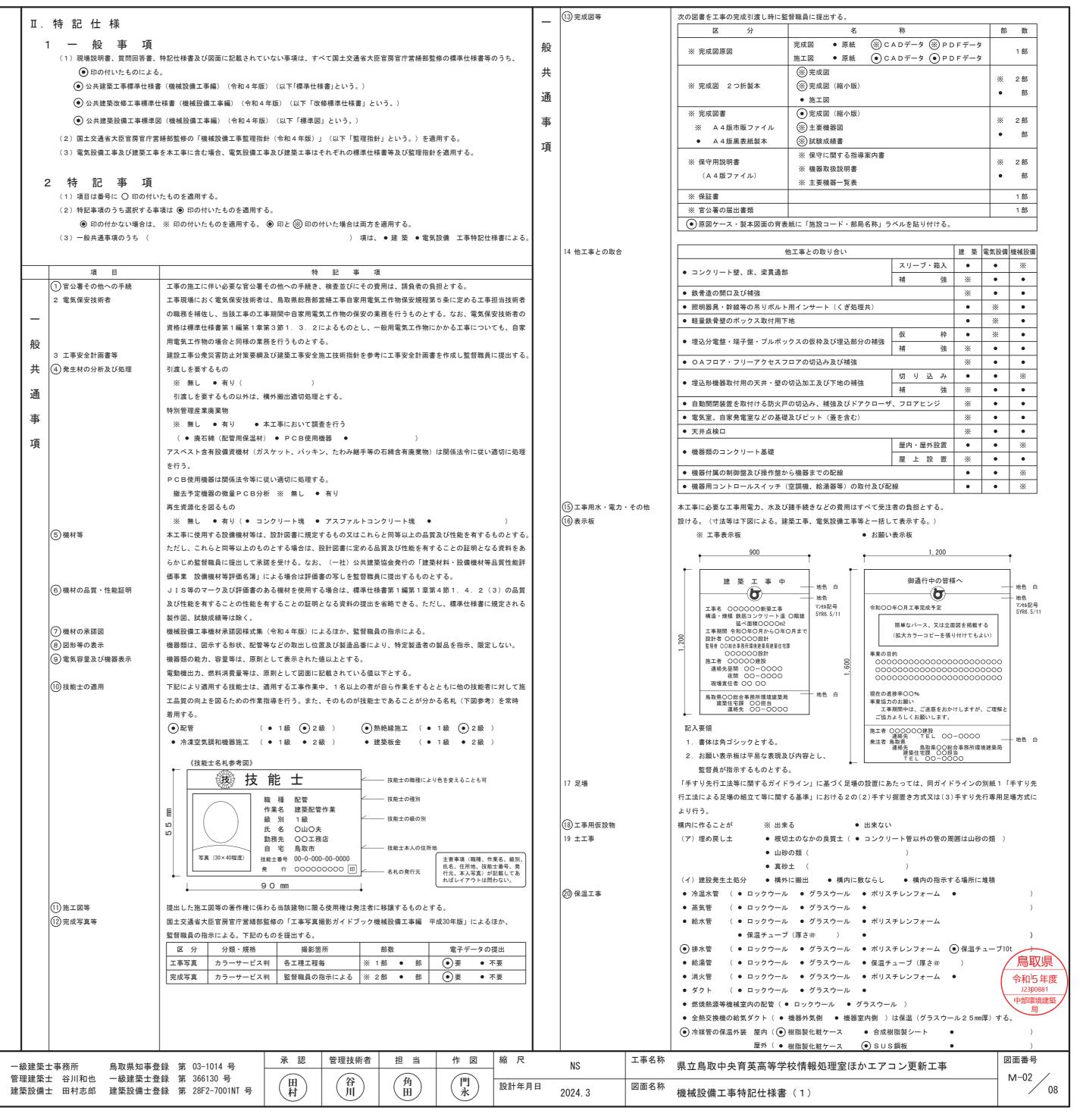
3 工事種目 (● 印の付いたものが対象工事種目)

工事種目 番 号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空気調和設備							
● 冷暖房設備	0						
● 換気設備							
● 排煙設備							
● 自動制御設備							
● 衛生器具設備							
● 給水設備							
● 排水設備							
● 給湯設備							
ガス設備							
● 浄化槽設備							
● 消火設備							
● さく井設備							
● 電気設備工事	0						機器電源の離線・再接続
● 建築工事							

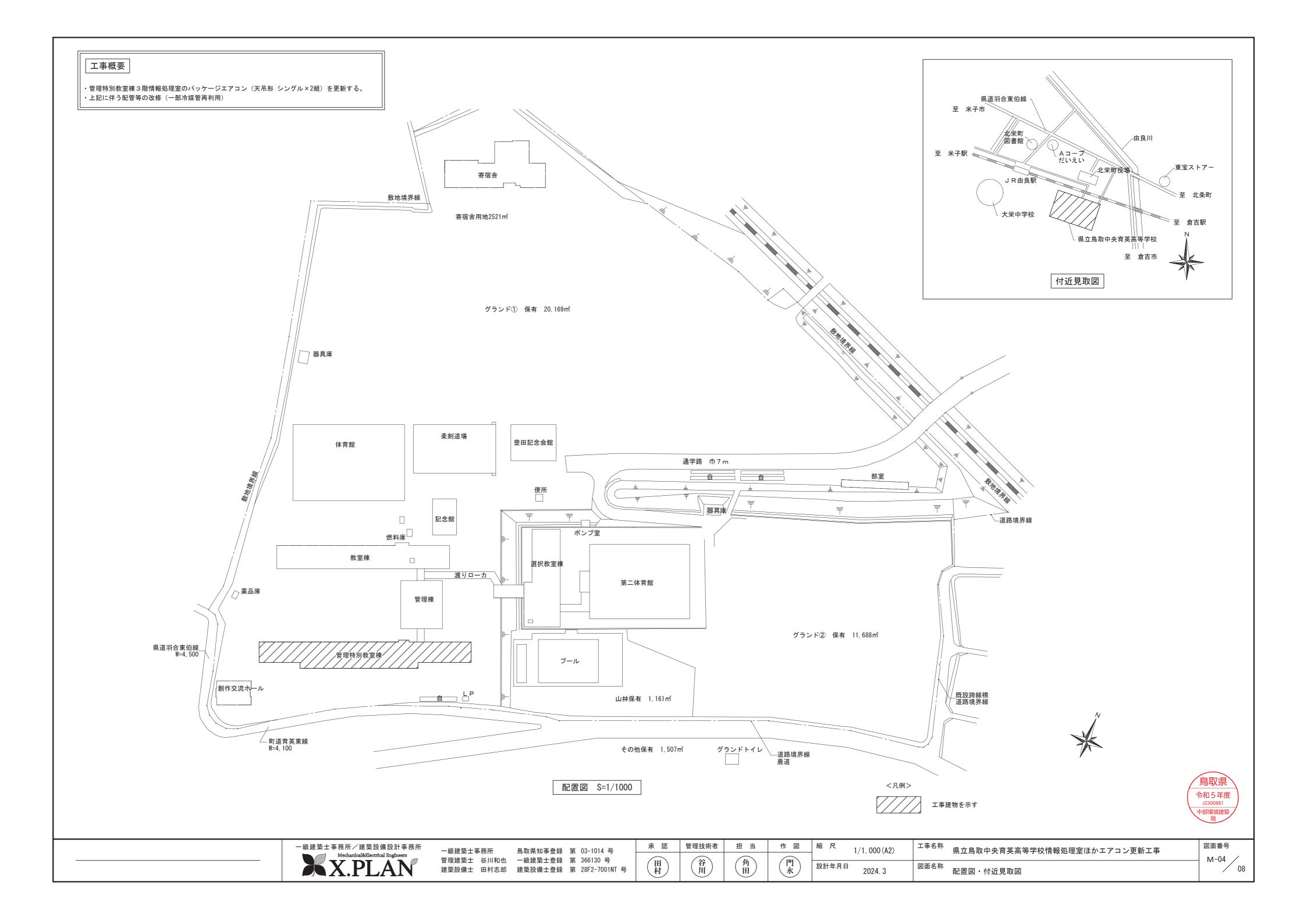
	● 印の付い	いたものを適用する。
	項目	設 備 概 要
	● 空気調和設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
	● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式
空気調	● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房(● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
和・冷	● 熱源	● 電気● 灯油● A重油● ガス● バイオマス
冷暖房設備	● 主要熱源機器	 鋼製ポイラー チリングユニット 直だき吸収式冷温水機 バイオマスポイラー ヒートポンプパッケージエアコン(マルチタイプ 温風暖房機 算空式温水発生機 遠心冷凍機 遠心冷凍機 吸収式冷凍機ユニット ルームエアコン 有 ()無) 温風暖房機 手F暖房機 本の他()
	人 人気設備	 第一種 第三種
排	上煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
É	3動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
	● 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式
	中ロバロ文が開	水源 ● 水道水 ● 井水
		排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水)
		汚 水 ◆ 公共下水道 ◆ 浄化槽
	● 排水設備	放 流 先 雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
		雨 水 ◆ 公共下水道 ◆ 側溝 ◆ 河川
衛生		
生設備		処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
	● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
	● 消火設備	 ■ 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火(● 窒素 ● 窒素系 ●) ● ハロゲン化物消火
	● 都市ガス (MJ/Nm3)● 液化石油ガス	

一級建築士事務所/建築設備設計事務所

Mechanical&Electrical Engineers



21 鋼管類の防食処置	地中埋設 ● ペトロラタム系 ● ブチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート	1 =	設計用温湿度条件			1 衛生器具の参考型番	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。
22 絶縁継手	 標準図(施工3) (1)絶縁フランジ (2)絶縁シート (3)絶縁スリーブ (4)絶縁ユニオン 	1 ' "	以印用/血/型及木干	外気条件 室内 (調整目標値)	6	2 小便器用節水装置	※ 小便器一体型 ● 小便器分離型
23 防振継手	※ 合成ゴム製 (球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形 (ステンレス製)	空			衛		● 洗浄水量 4 リットル/回以下
24 伸縮管継手	※ ベローズ形 ● スリーブ形	気調調		温度 湿度 温度 温度 温度 湿度	上 器		※ 個別感知方式 (● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式
25 塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。 (さび止め塗装は除く。)	和		夏季	具	3 自動水栓	電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池
	(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面	備		冬季 °C % °C %	備	4 大便器洗浄弁	操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)
	(ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類		AA + 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				● 手動式
	(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面 (キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウムー亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面	(2)	冷却水管 冷水・温水・冷温水管	※ SGP (白) ● SGP-VA ● SGP-PA ※ SGP (白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 (SUS304)		5 温水洗浄便座 6 器具と排水管接続	洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式 ※ 標準図 (施工 6 4) ● 標準図 (施工 6 5)
	(イ)アルミ、スナフレス、刺、冷蔵アルミーソムー型和軟板面、占成倒脂袋等、特に坐表の必要を認められない面 (ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面	冷	/7/ // // // // // // // // // // // //	 ◆ 架橋ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ◆ ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る) 	-	1 量水器	※ 標字図 (加工 6 4) ▼ 標字図 (加工 6 5)● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示)
	(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管	暖	膨張・空気抜・補給水管	※ S G P (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)	7	・主が開	◆ 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)
	● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 ()	設 5 최	蒸気給気管	※ SGP(黒)	給	2 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316
26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322を満足するものとする。	備 6 ネ	蒸気還水管	※ STPG370-Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)	水		● HIVP ● 架橋ポリエチレン管
27 溶接配管の検査	● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管	7 ž	油・油用通気管	一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管	設		(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316
	非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)	3 8 %	冷媒管	※ 断熱材被覆銅管	備		(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316
	抜 取 率(●標準仕様書による ● %)	揆 _	空調用給水管	ステンレス鋼管 ● SGP-VA ●			水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ◆ 水道用ポリエチレン二層管(50A以下
28 埋設表示	● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。	<u>=</u>	空調用排水管	※ SGP (白) () VP			(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 (大)ボール第の数へ大き、メルギザク、スープ/参数ク/(末等以替の数字がには無限なりの見取任します。)
 ② 支持金物・固定金具	● 埋設表示用テープを埋設する。 (● ガス管 ● 屋外給水管 ●ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。	磁 11 ៛	^井 類 ファンコイルユニット	※ 5 K◆ 10 K※ 流量調整弁◆ 定流量弁(◆ ダイヤフラム式流量可変式◆ カートリッジオリフィス形)を取付ける。			(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合 (直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。) (カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※ 融着継手
(29) 又特亚彻 - 固足亚共	アンフ、産外改直収益及びピット内に使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。		ダンパー	(ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)		3 弁類	※ 口径 6 5 A 以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。
	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。			(イ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●		0 71 XX	
	 ● 温度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 	14 5	ダクト	※ 低圧ダクト ● 高圧 1 ダクト ● 高圧 2 ダクト			 ◆ 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)
	● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質 (● 一般飲料水適否検査 ●)			● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法)		4 水槽のマンホール	屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。
	● その他水質等 (● 雑用水 ● 空調用流体 ●)			(長辺1500mmを超えるものはアングルフランジエ法とする。)	Q	1 配管材料	(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管
31 アスベスト含有建材の処理				● アングルフランジエ法	Thr		(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管
	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等			● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。	排		● 耐火二層管
	建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲		吹出口・吸込口	ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製	小		(ウ)ポンプ排水管 ● VP (水道用) ● H I VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水鋼管用継手)
		16 7	チャンバー等	シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。	故		(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU(地中) ● REP-VU(地中)
				接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、(長さ+100) × 300 × 300Hの接続チャンパーを設ける。	VĦ		(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU (地中) ● REP-VU (地中) ● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管
	※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する			外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。		2 満水試験継手	3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
	法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。	17 消	消音内貼り	吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。		3 パイプシャフト内配管の保温	※ 施工する
	● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。			内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口(原則400×600)を取付ける。		4 煙試験	※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う
	分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。	10 8	瞬間流量計及び流量測定口	吹出口技術デャンハー以外の内貼りしたデャンハーには点検口(原則400×600)を取り口る。 形式はピトー管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式	٥	1 配管材料	◆ SGP-HVA◆ ステンレス鋼管◆ 架橋ポリエチレン管
	● アスベスト粉じん濃度測定を行う。	10 13		下記の箇所、若しくは図示により取付ける。	"		● 保温付被覆銅管 ● 銅管
	(測定時期: 測定場所: 測定点:)			◆ 冷凍機類の冷水出口◆ 瞬間流量計◆ 測定用タッピング	治湯		湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
	● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。			● 冷凍機類の冷却水出口● 瞬間流量計● 測定用タッピング	設	2 弁類	※ 5 Κ • 10 Κ
	● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。対象簡所()			● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング	1/III	1 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG
(32) 補修など	メータ (本) スタ (本)			● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング	10	1 配官材料	(イ) 土間下配管 ◆ SGP (日) ◆ STPG - VS
33 はつり				● ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング	消		(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
34 はつり工事における非破壊検査	探查方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査		定風量・変風量ユニット	● メカニカル形 ● 風速センサー形	火	2 弁類	× 10K • 16K
35 室内空気中の化学物質の濃度測定	実施する。		温度計	機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計	設	3 保温	(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する
③6 火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。		冷温水管の空気抜き ー	空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ● 自動	備		(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する
	(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)			自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))			(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別 e 3 · (ハ) · WIIによる)
③7 グリーン購入	グリーン購入は次のもとのする。			機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。			● 屋内消火栓用(※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用(※ 施工しない ● 施工する)
	(●) 空調用機器 (パッケージエアコン) ● 衛生器具 () (22 至	空調機用トラップ	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製		4 昆中沙山丛	● 連結送水用 (※ 施工しない ●施工する) ● 連結散水用 (※ 施工しない ●施工する)
	● 断熱材 (● 再生硬質ポリ塩化ビニル管)● その他 ()	23 翁	鋼板製煙道	材質及び厚さ ◆ SS400 (※ 3.2mm ◆ 4.5mm) ◆ SUS (※ 1.5mm ◆ 2.0mm)		4 屋内消火栓 5 ガス系消火剤の種類	● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号) ● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23
38 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事			煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける		6 ガス系消火の起動方式	
39 建築物省工ネ法	対象工事			煤じん量測定口 (80 φ × 2) ※ 取付ける ● 取付けない		1 都市ガス設備	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
40 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造		オイルサービスタンク	油面計はゲージ式(側圧計)とする。	11	2 配管材料	(ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管
	者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。	25 ±	地下オイルタンク	据付け方法 ● 標準図(施工32)(二重設タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工33)(タンク室有り)	ガ		(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
	(1)機器の据付け及び取付け			タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事)	ス		(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管
	設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [kN] に、			本 曜	設	3 ガスメータ	● 親メーター ※借用 ● 買取 (取付け ※別途 ● 本工事)
	地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。			タンクローリー用アース端子を設ける。	備	A	● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)
	設計用標準水平震度 (●) 特定の施設 ● 一般の施設 B置場所 機器種別 ● 重要機器 ● 重要機器 ● 重要機器 ● 一般機器	26 Æ	油面制御装置	油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●		4 バルク貯槽	● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取
	上層階 機器 2.0 1.5 1.5	27	フィルター等付属品	● 機器表特記による。		5 容器廻りの配管 6 容器転倒防止	●標準図(施工73)の●要領(a)●要領(b)●要領(c)●標準図(施工74)の●要領(a)●要領(b)
	屋上、塔屋 防振設置機器 2.0 2.0 1.5			● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。		7 ガス漏れ警報器	 ◆ 標字図 (m上 / 4 / 0) ◆ 安頃 (a) ◆ 安頃 (b) ◆ 不要 ◆ 要 (※ 別途工事 ◆ 本工事)
	水 槽 類			インパーター機の表示された能力は、型番で選定する。		1 処理種別及び方式	 小規模合併処理(● 分離接触ばつ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばつ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばつ気方式
	中 間 階 防振設置機器 1.5 1.5 1.0	-	防振吊り及び支持金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	12		● その他性能評価を受けた方式 ())
	水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.4	4 1 5	ダクト 排煙口	※ 亜鉛鉄板製 ● 銅板製 (厚1.6mm)形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形	净		● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式)
	地階・1階 防振設置機器 1.0 1.0 0.6	排 ²	177 /生 □	形状 ● ハネル形 ● スリット形 ● ダンハー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付		2 型式	● ユニット型● 現場施工型
	水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6	売	排煙口開放及び復帰方式	電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要)		3 処理能力	● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m 3 / d
	上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層2階、10~12階建:上層3階、13階建以上:上層4階	備 "	排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。	設	4 放流水の水質	● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下
	中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・		中央監視制御盤装置	● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し	備	5 排水左击	● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 ※ 白鉄淬下 ● ポンプ排水
	重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置 ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む)	自 2 電	電源装置	● 要(● 本工事 ● 別途工事) ● 不要		5 排水方式 6 埋戻し土	※ 自然流下 ● ポンブ排水 ● 砂 ● 根切土の中の良質土
	 ▼ 欠を使用する設備 ▼ 越難経路上に設直する機器 ▼ 水帽類(燃料小山帽を含む) ● ()	4 II	温度調節器等	取付高さ ※ 1300mm ● mm		7 土留め工事	● 不要● 要 (図示による)
	/ (2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	削 4 計	計装工事の配線	■ 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。		8 マンホールふた	ツ 制作 老 標 佐 上 ゲ (ロ ・
	(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年	設備		● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。		9 消毒薬	※ 製造有標準は様(ロック式) ● MHA型(ボルト式)
	版」((一財)日本建築センター)を参考にする。	ν m					中部環境建築
							局
							<u> </u>
	一級建築士事務所/建築設備設計事務所	級建築士事	事務所 鳥取県知事登	承認 管理技術者 担当 作図 縮尺		NS 工事名称	県立鳥取中央育英高寺学校情報処理室はかエアコン更新工事
	Mechanical&Electrical Engineers		谷川和也 一級建築士登				M-03
		AL	田村志郎 建築設備士登	Ě録 第 28F2-7001NT 号 │ 【 村 <i>〉</i> │ 【 川 <i>│</i> │ 【 田 <i>│</i> │ 【 永 <i>│</i> │ ^{設計年}		2024.3 図面名称	機械設備工事特記仕様書(2)



冷暖房設備機器表(改修後)

記号	名称	機器仕様	電気容量 (参考)	数量	備考
	パッケージエアコン	天吊形 シングル 224型 耐塩害仕様	$3 \phi \times 200 V$	2	設置場所:3F情報処理室
		定格冷房能力: 20.0kW(7.0~22.4kW) 定格暖房能力: 22.4kW(5.8~28.0kW)	COMP:4.5kW		※既設冷媒管再利用
$\begin{pmatrix} AC \\ 1 \end{pmatrix}$		ワイヤードリモコン、転倒防止金物×2、その他標準付属品共	FAN内: 0.110kW×2		冷媒配管径:12.70φ/25.40φ
【新設】			FAN外: 0.086kW×2		冷媒管長さ:18m程度
					※RCゲタ基礎① 再利用
	ルームエアコン	壁掛形 標準品 耐塩害仕様	1 φ × 100V	1	設置場所:1F 和室
210		定格冷房能力: 2.8kW(0.9~4.5kW) 定格暖房能力: 3.6kW(0.8~7.7kW)	COMP:0.75kW		
RAC 2		ワイヤレスリモコン、転倒防止金物×2、その他標準付属品共	FAN内: 0.053kW		
【新設】			FAN外: 0.05kW		
					※RCゲタ基礎② 再利用

特記事項

※エアコンの機種選定において高調波抑制対策指針の適用対象となる場合は、高調波流出電流計算書上の換算係数Ki=1.8以下の機種を選定すること。 ※AC-1の電源再接続は電気設備工事とする。

※RAC-2の電源改修は電気設備工事とする。

※図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。

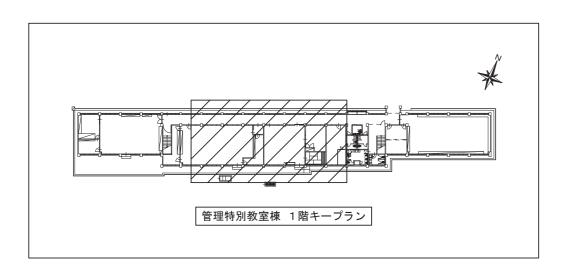
※冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。

※パッケージエアコンはグリーン購入法適合品とする。

※パッケージエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。

※ルームエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS C 9612に規定された定格条件による。

※インバータータイプの冷房・暖房能力は定格値、()内が能力変化の参考値を示す。



特記事項

※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。

※図中特記無き配管は露出配管とする。

※図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を確認のうえ施工すること。

※冷媒管のサイズ、配線仕様は参考とし、採用メーカーにより変更が必要となった場合は 施工者負担で対応すること。

※作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。

※RAC-2系統のエアコン内外渡り配線は本工事にて敷設する。

※RAC-2系統のエアコン内外渡り配線はEM-EEF2.0-3C+EM-IE2.0 (冷媒共巻) とする。

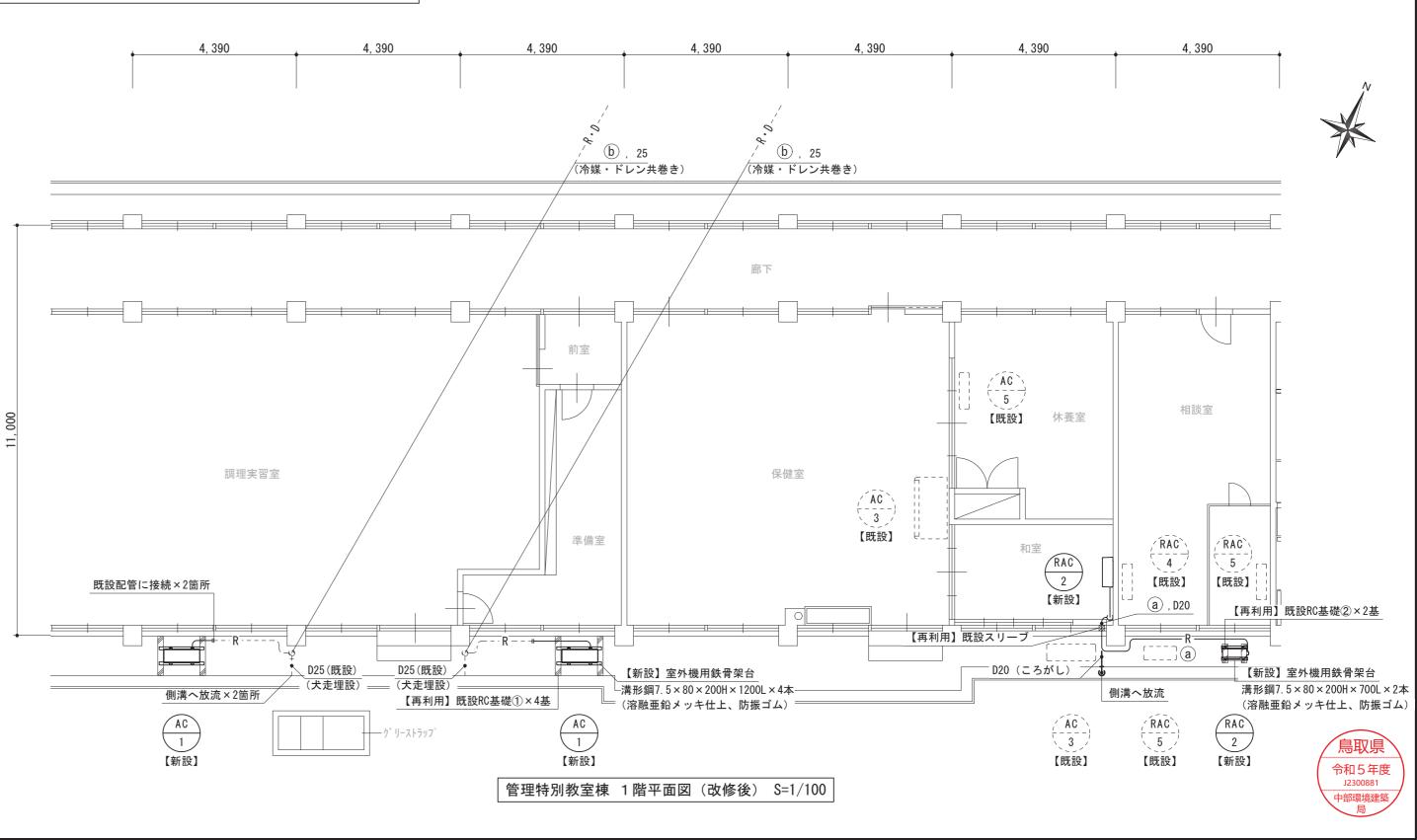
※AC-1系統のエアコン内外渡り配線は既設を再利用する。

※既設RC基礎等に設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施すること。

凡例

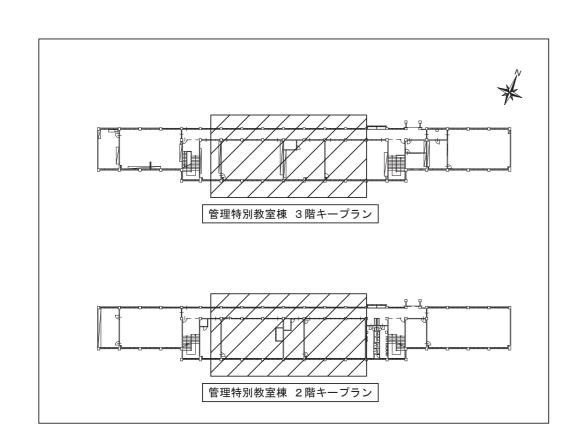
記号	名称	管種	保温・外装
p	冷媒管	 冷媒用断熱材被覆銅管(銅管:JCDA-0009)	屋内:樹脂製保温化粧ケース
— к —	小妹官	が	屋外: SUS製ラッキング
	ドレン管	屋内一般: VP(JIS-K6741)	屋内:保温チューブ10t
—v—	トレン官	屋外露出:カラーVP(JIS-K6741)	屋外:なし・冷媒外装共巻き

記号	冷媒配管サイズ (参考) (液管×ガス管)			
a	$6.35 \phi \times 9.52 \phi$			
(b)	12. 70 φ × 25. 40 φ			



県立鳥取中央育英高等学校情報処理室ほかエアコン更新工事 管理特別教室棟 冷暖房設備設備 1階平面図(改修後)

図面番号 M-05/ 08



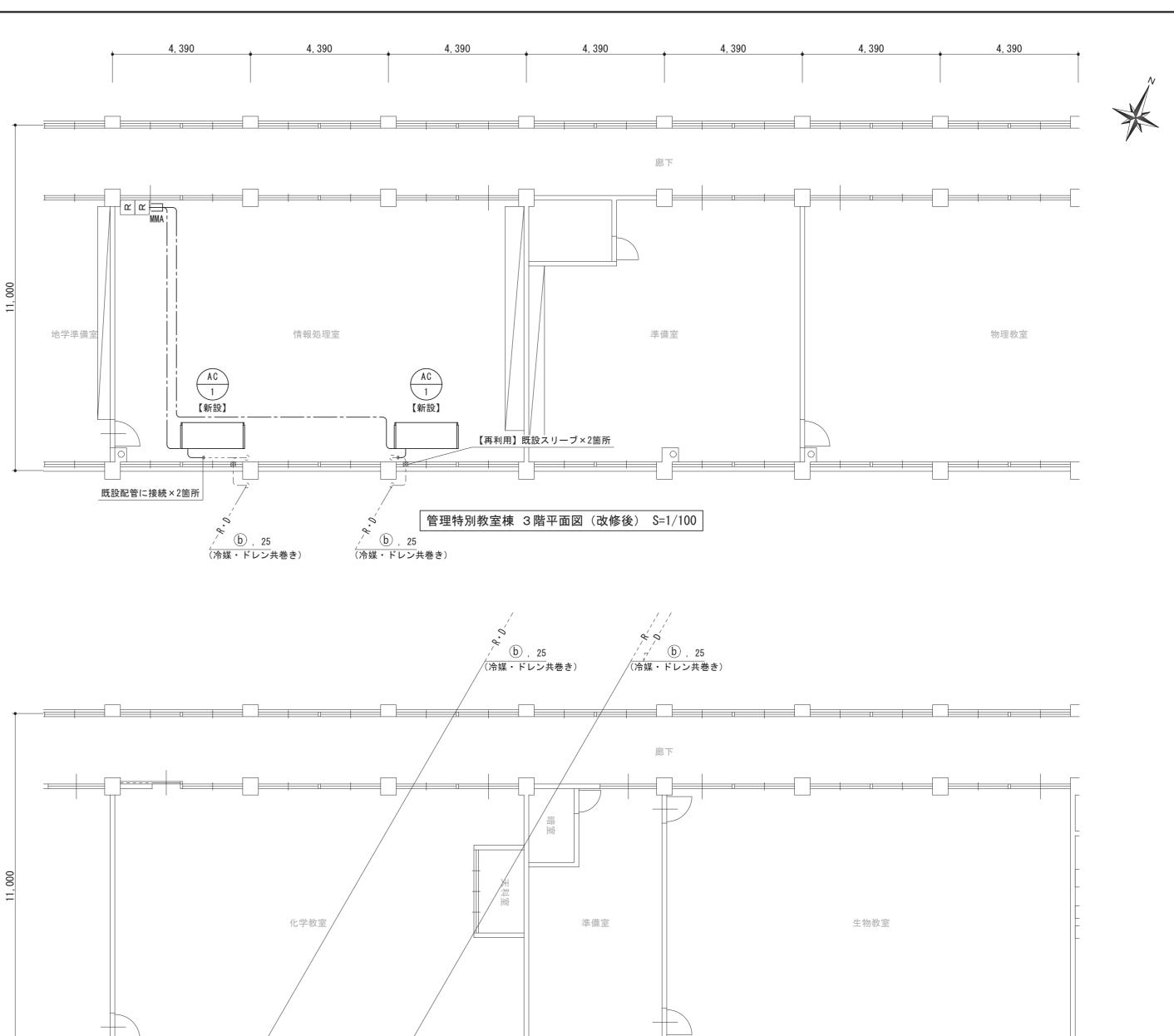
特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※図中特記無き配管は露出配管とする。
- ※図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を確認のうえ施工すること。
- ※冷媒管のサイズ、配線仕様は参考とし、採用メーカーにより変更が必要となった
- 場合は施工者負担で対応すること。
- ※作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。
- ※図中、 R はエアコンリモコンを示し、取付は本工事とする。
- ※リモコン用スイッチボックス(2個用)と立下げ(MMA・同付属品共)は本工事する。
- ※リモコン配線は本工事にて敷設する。
- ※AC-1系統のエアコン内外渡り配線は既設を再利用する。
- ※AC-1系統のエアコン内外渡り配線はVVF2.0-3C(冷媒共巻)とする。

凡例

記号	名称	管種	保温・外装
p	冷媒管	 冷媒用断熱材被覆銅管(銅管:JCDA-0009)	屋内:樹脂製保温化粧ケース
	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	/ 7	屋外:SUS製ラッキング
— D —	ドレン管	屋内一般: VP(JIS-K6741)	屋内:保温チューブ10t
		屋外露出:カラーVP(JIS-K6741)	屋外:なし・冷媒外装共巻き
	リモコン線	EN METCO For 20	天井ころがし:なし
		EM-MEESO. 5sq-2C	立ち下げ:MMA

記号	冷媒配管サイズ(参考)
	(液管×ガス管)
a	6. $35 \phi \times 9.52 \phi$
(b)	12. $70 \phi \times 25.40 \phi$





一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

管理技術者 承 認

(b) , 25

(冷媒・ドレン共巻き)

(b) , 25

(冷媒・ドレン共巻き)

角田

作 図

管理特別教室棟 2階平面図(改修後) S=1/100

1/100 (A2) 設計年月日 2024.3

工事名称 県立鳥取中央育英高等学校情報処理室ほかエアコン更新工事 図面名称 管理特別教室棟 冷暖房設備設備 2・3階平面図(改修後)

図面番号 M-06 /

令和5年度

中部環境建築

冷暖房設備機器表(改修前)

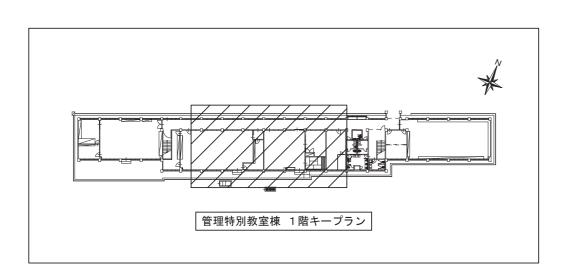
記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考
	パッケージエアコン	天吊形 冷房専用	3 φ × 200V	2	設置場所:3F情報処理室
		定格冷房能力: 22. 4kW	COMP:5.5kW		室内機品番: RJ224K (ダイキン)
$\begin{pmatrix} AC \\ 1 \end{pmatrix}$		ワイヤードリモコン、その他標準付属品共	FAN内: 0.27kW		室外機品番: FHYJ200F (ダイキン)
【撤去】		冷媒量:5.3kg (R22) 製品重量:80kg (室内機)、168kg (室外機)	FAN外: 0.34kW		※RCゲタ基礎① 再利用
					寸法:150W×500D×280H
	ルームエアコン	床置形	1 φ × 200V	1	設置場所:1F 和室
		定格冷房能力:2.8kW 定格暖房能力:3.8kW	COMP:0.75kW		室内機品番:SRF283KR(三菱重工)
RAC 2		ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共	FAN内: 0.027kW		室外機品番:SCF283KR(三菱重工)
【撤去】		冷媒量: 0.99kg (R22) 製品重量: 21kg (室内機)、34kg (室外機)	FAN外: 0.011kW		※RCゲタ基礎② 再利用
					寸法:150W×500D×250H

特記事項

※撤去するエアコンの既設冷媒は適正に処理すること。

※機器電源の離線は電気設備工事とする。

※ルームエアコンは家電リサイクル法に基づき適正に処分をすること



特記事項

※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。

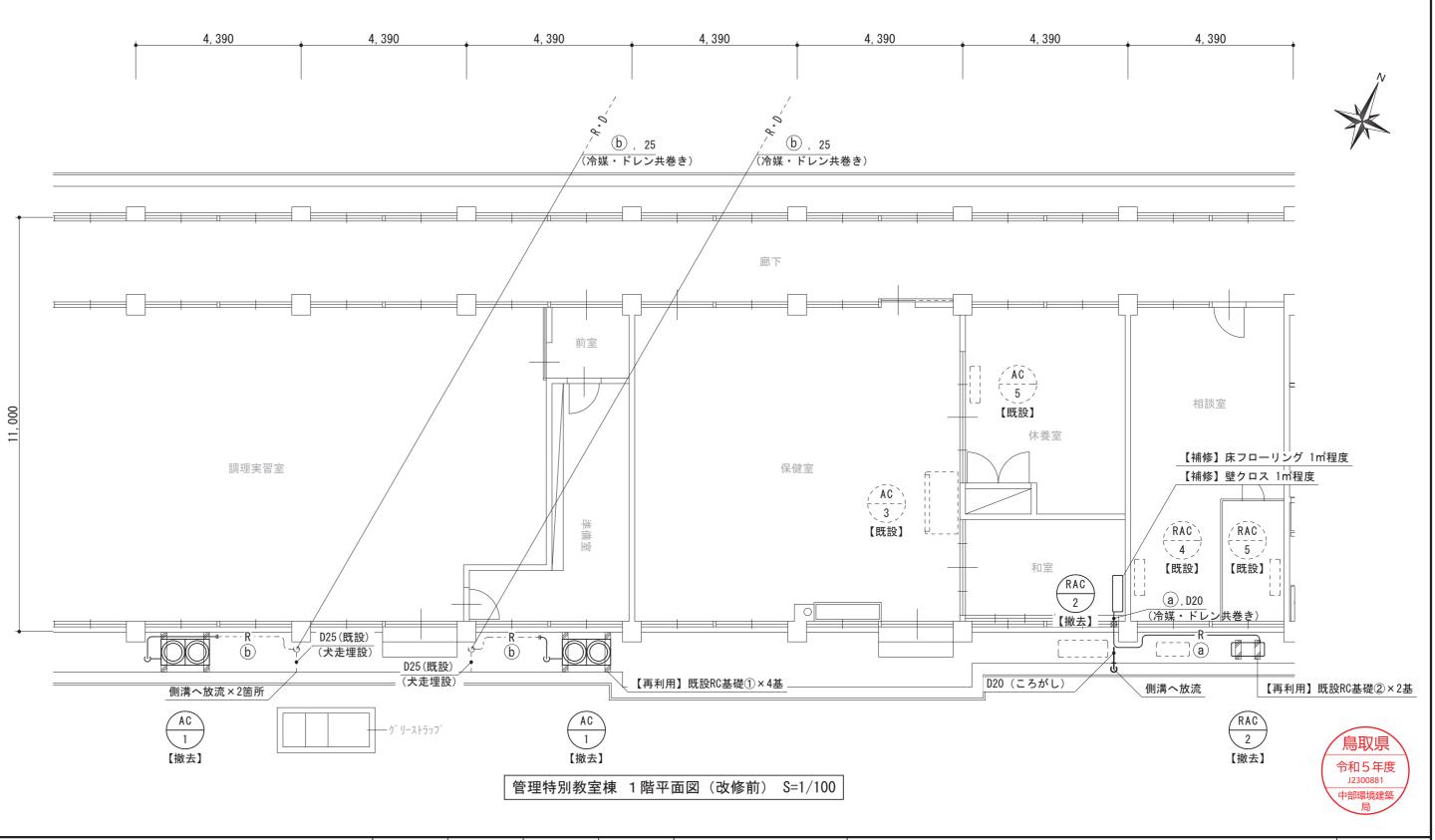
※図中特記無き配管は露出配管とする。 ※RAC-2系統のエアコン内外渡り配線 (VVF2.0-3C [冷媒共巻]) は本工事にて撤去する。

※AC-1系統のエアコン内外渡り配線 (VVF2.0-3C [冷媒共巻]) は既設を再利用する。

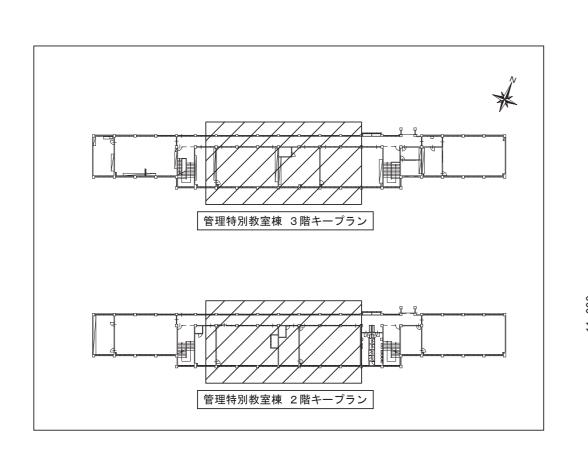
凡例

記号	名称	管種	保温・外装
p	冷媒管	 冷媒用断熱材被覆銅管(銅管:JCDA-0009)	屋内:樹脂製保温化粧ケース
K	77 殊 目	/ 7 朱/	屋外:SUS製ラッキング
— D —	―― ドレン管	屋内一般: VP(JIS-K6741)	屋内:保温チューブ10t
		屋外露出:カラーVP(JIS-K6741)	屋外:なし・冷媒外装共巻き

記号	冷媒配管サイズ (液管×ガス管)
a	6. $35 \phi \times 9.52 \phi$
(b)	12. $70 \phi \times 25.40 \phi$



谷川



特記事項

※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。 ※図中特記無き配管は露出配管とする。

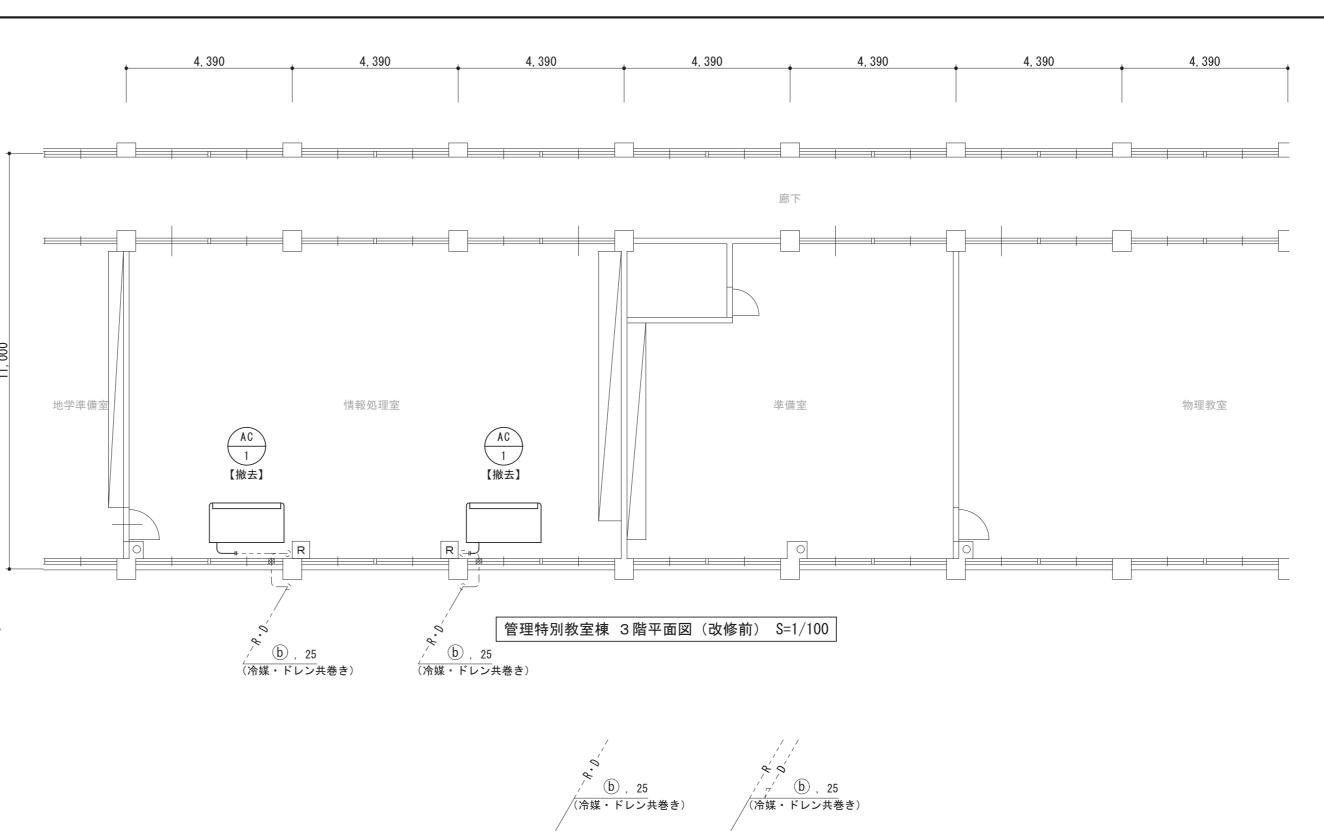
※図中、 R はエアコンリモコンを示し、撤去する。 リモコン撤去後はカバープレートを取り付ける。 ※リモコン配線 (CVVS1.25-3C [管内]) は本工事にて撤去する。

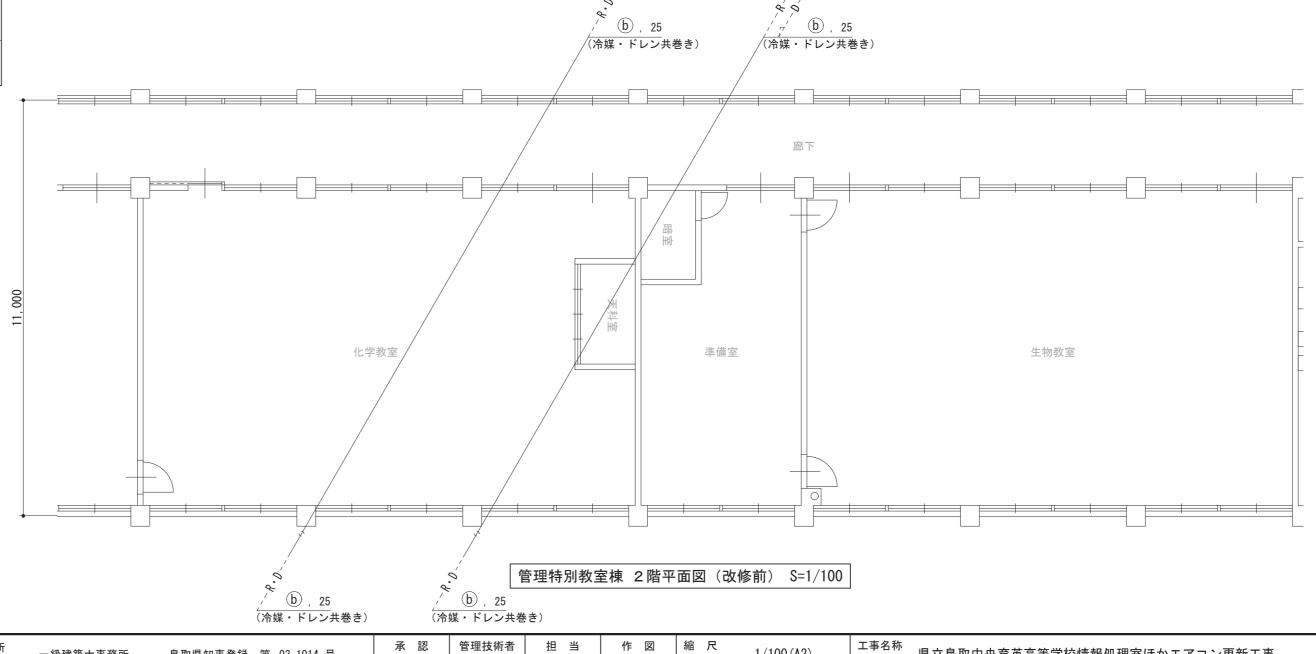
※AC-1系統のエアコン内外渡り配線 (VVF2.0-3C [冷媒共巻]) は既設を再利用する。

凡例

記号	名称	管種	保温・外装
	\ <u>\</u>	<u> </u>	屋内:樹脂製保温化粧ケース
— R —	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管(銅管:JCDA-0009) 	屋外: SUS製ラッキング
D ドレ	ドレン管	屋内一般: VP(JIS-K6741)	屋内:保温チューブ10t
		屋外露出:カラーVP(JIS-K6741)	│ │屋外:なし・冷媒外装共巻き

記号	冷媒配管サイズ (液管×ガス管)				
a	$6.35 \phi \times 9.52 \phi$				
(b)	12. 70 φ × 25. 40 φ				









一級建築士事務所

鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号 承 認

角田

作 図

1/100 (A2) 設計年月日 2024.3

工事名称 県立鳥取中央育英高等学校情報処理室ほかエアコン更新工事 図面名称 管理特別教室棟 冷暖房設備設備 2・3階平面図(改修前)

図面番号 M-08 /



特 記 仕 様

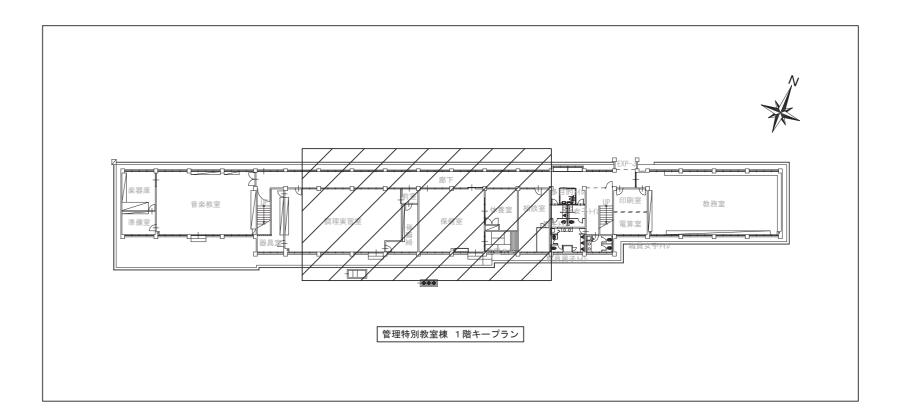
一 般 事 項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の 標準仕様等のうち、●印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。

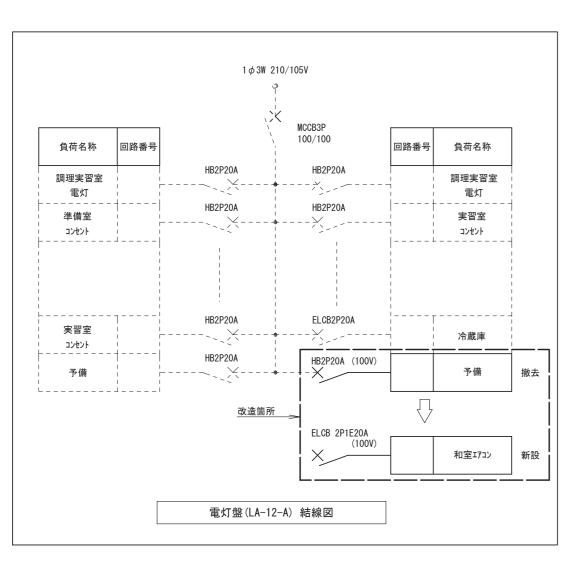
工事内容

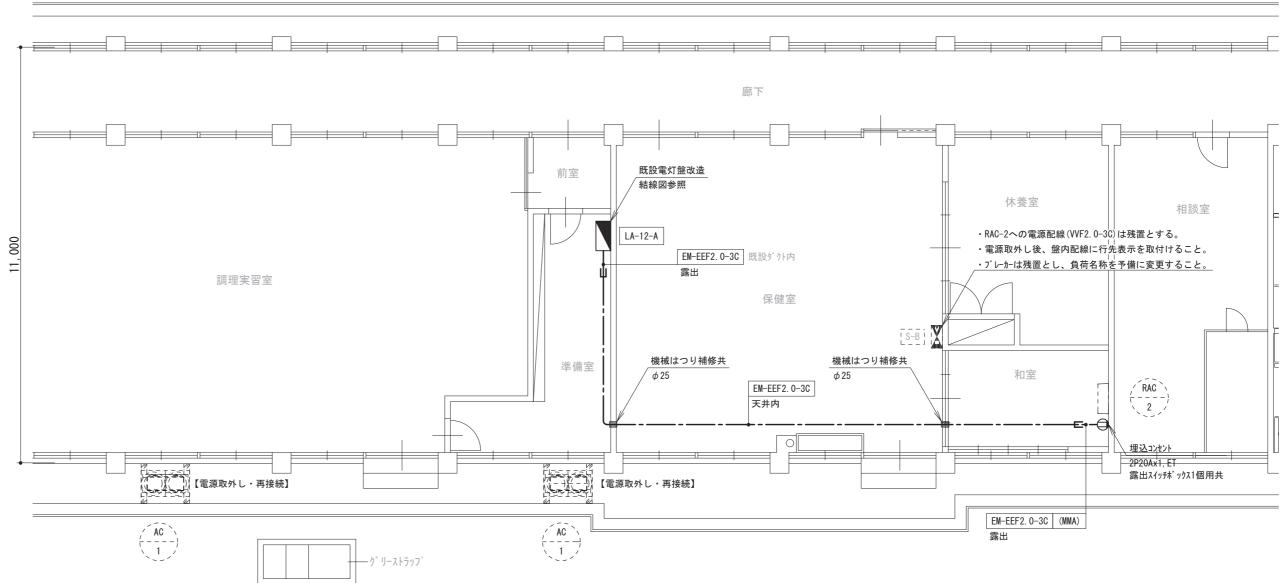
(1) エアコンの更新に伴う電源工事

・空調機器の更新に伴い、機器電源の変更(1Φ200V→1Φ100V)、及び電源の離線・再接続を行う。









管理特別教室棟 1 階平面図(改修後) S=1/100



図面番号

E-01 01



一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承 認 管理技術者 担 当 小谷

作 図 縮尺 設計年月日 2024. 3

1/100 (A2)

工事名称 県立鳥取中央育英高等学校情報処理室ほかエアコン更新工事

図面名称 管理特別教室棟 空調機電源設備 1階平面図(改修後)

県立倉吉東高等学校保健室ほかエアコン更新工事

	図 面 リ ス ト	
図番	図 面 名 称	縮尺
M - 01	表紙・図面リスト	NS
M - 02	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
M - 03	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M - 04	配置図・付近見取図	1/1,000
M - 05	管理特別教室棟 冷暖房設備 1階平面図(改修後)·(改修前)	1/100



一級建築士事務所

鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

管理技術者

承 認

作 図 設計年月日

NS

県立倉吉東高等学校保健室ほかエアコン更新工事

表紙・図面リスト

図面番号 M-01

機械設備工事特記仕様書

I. エ 事 概 要

1 工事場所 倉吉市下田中町

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階 数	建築基準法による 延べ面積(m)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	管理特別教室棟	RC	3		()項	
2					()項	
3					()項	
4					()項	
5					()項	

3 工事種目 (● 印の付いたものが対象工事種目)

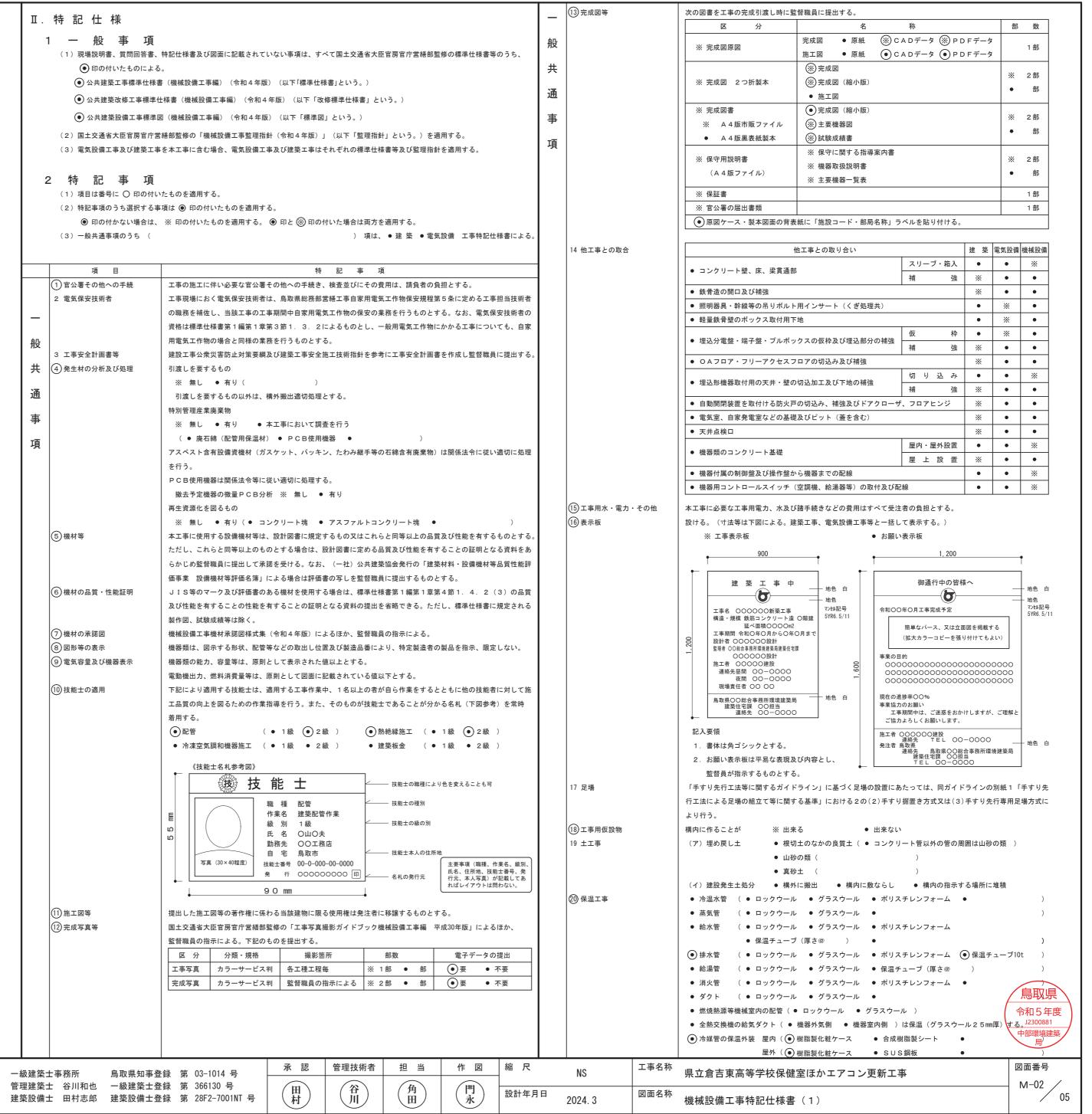
工事種目 番 号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空気調和設備							
● 冷暖房設備	0						
● 換気設備							
● 排煙設備							
● 自動制御設備							
● 衛生器具設備							
● 給水設備							
● 排水設備							
● 給湯設備							
ガス設備							
● 浄化槽設備							
● 消火設備							
● さく井設備							
● 電気設備工事	0						機器電源の離線・再接続
● 建築工事							

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。) ● 印の付いたものを適用する。

	● 印の付い7	たものを適用する。 							
	項目		設 備 概 要						
	● 空気調和設備	● 単一ダクト方式	● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式						
_	● 冷暖房設備	• ファンコイルユニ	ニット方式 ・ パッケージ方式						
空気調	● 暖房設備	● 温水暖房 ●	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房(● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房						
和•冷暖	● 熱源	● 電気 ● 灯油	● 電気● 灯油● A重油● ガス● バイオマス						
%房設備	● 主要熱源機器	 ● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 小形吸収式冷温水機ユニット ● パイオマスボイラー ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ) ● 有 ● 無) 							
	気設備		F F F 暖 房機● その他()第三種● 第三種						
排	煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)							
自	動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式							
	● 給水設備	給水方式	● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式						
	THE STATE OF	水源	水道水◆ 井水						
		排水方式	● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水)						
			汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽						
	● 排水設備	放 流 先	雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽						
			雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川						
衛生設備		净 化 槽	処理方式 ● 小規模合併 ● 合併						
旗		77 10 18	処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川						
	● 給湯設備	● 局所式 (● ガス	ス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)						
	● 消火設備	• スプリンクラー	 ■ 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● 粉末消火装置 (● 窒素 ● 窒素系 ●) ● ハロゲン化物消火 						
	ガス設備		MJ/Nm3) ◆ 液化石油ガス						

一級建築士事務所/建築設備設計事務所

Mechanical&Electrical Engineers

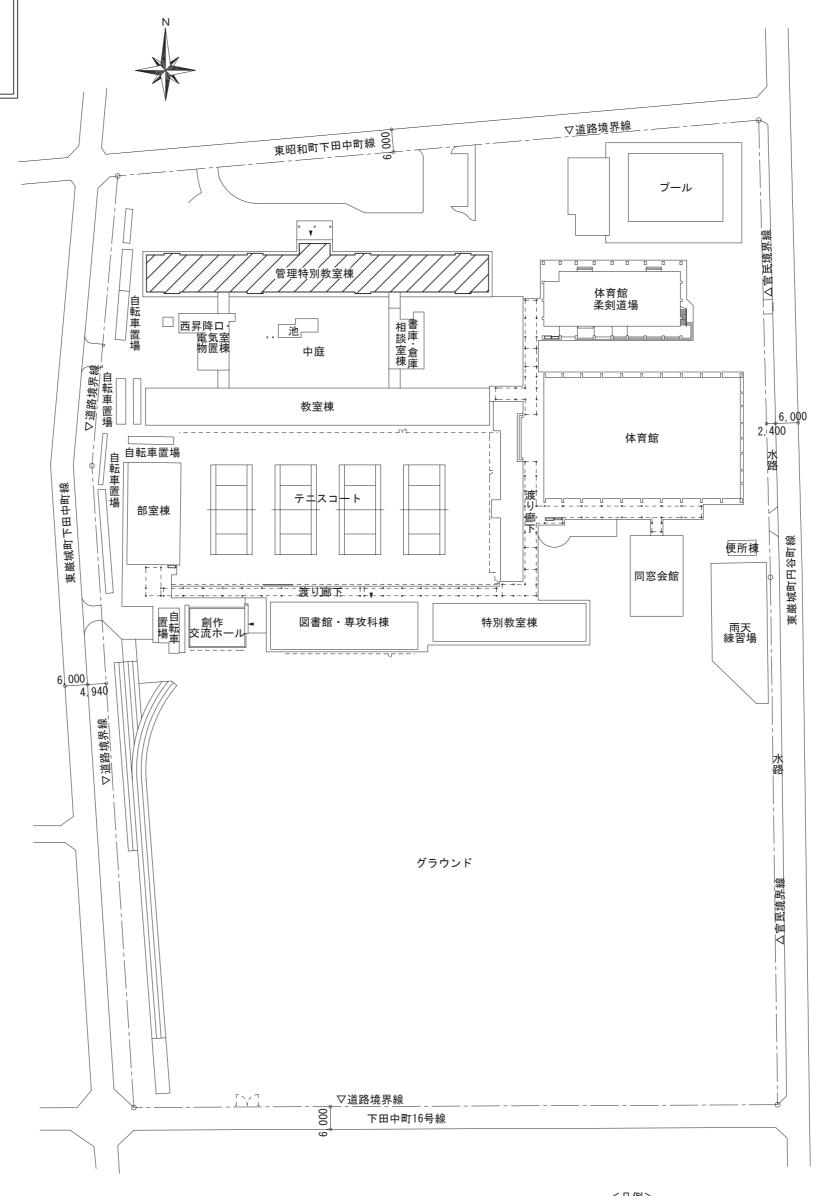


	the time.		4 元 田田田田田田		T	4 年 11 日 2 4 4 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	型果在市位15.11分类型果花在市口46.4.4.4.4.7.7.48人,分类型果の尺位17.4.4.7
21 鋼管類の防食処置 22 絶縁継手	地中埋設 ● ペトロラタム系 ● ブチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート ● 標準図(施工3) ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン	1	1 設計用温湿度条件	室 内 (調整目標値) 外気条件	6	1 衛生器具の参考型番 2 小便器用節水装置	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 ※ 小便器一体型 ● 小便器分離型
23 防振継手	※ 合成ゴム製 (球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形 (ステンレス製)	空	1	一般 ()	衛	2 小汉丽川如小农臣	・ 洗浄水量 4 リットル/回以下
24 伸縮管継手	※ ベローズ形 ● スリーブ形	気調	1	温度 湿度 湿度 温度 温度 湿度	生哭		※ 個別感知方式 (● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式
25 塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)	和	1	(DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH)	具	3 自動水栓	電源供給方式 ◆ AC電源 ◆ 自己発電 ◆ 乾電池
	(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面	設備	1	夏季 °C % °C % °C %	設備	4 大便器洗浄弁	操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)
	(ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類	ин	!	【冬季】 「°C % % %	ИН		● 手動式
	(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面		2 冷却水管	※ SGP (白) ● SGP-VA ● SGP-PA		5 温水洗浄便座	洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式
	(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウムー亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面		3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP(白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 (SUS304)		6 器具と排水管接続	※ 標準図(施工64) ● 標準図(施工65)
	(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面	冷嘔	!	● 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る)● ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る)	7	1 量水器	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示)
	(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管	房房	4 膨張・空気抜・補給水管	※ S G P (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)	'		● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)
	● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 ()	設	5 蒸気給気管	※ SGP (黒)	給	2 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316
26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322を満足するものとする。	1月	6 蒸気還水管	※ STPG370-Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)	水		● HIVP ● 架橋ポリエチレン管
27 溶接配管の検査	● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管		7 油・油用通気管	一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管	設		(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS31
	非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)	3 (8 冷媒管	※ 断熱材被覆銅管	備		(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS31
	抜 取 率(●標準仕様書による ● %	換	9 空調用給水管	● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ●			水道配水用ポリエチレン管(75~100A)水道用ポリエチレン二層管(50A以下
28 埋設表示	● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。	気	(10) 空調用排水管	※ SGP (白) • VP			(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
	● 埋設表示用テープを埋設する。 (● ガス管 ● 屋外給水管 ●)	備	11 弁類	※5K • 10K			(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)
(29) 支持金物·固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。	1	12 ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。	•		(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手
	屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。		13 ダンパー	(ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。))	3 弁類	※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。
30 総合試運転調整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。		44 E% E ·	(イ)ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●			● 5 K (受水槽以降の配管に使用) ● 1 0 K (公営水道に直結する配管に使用)
	● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質		14 ダクト	※ 低圧ダクト ● 高圧 1 ダクト ● 高圧 2 ダクト			● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)
			!	● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法)	<u> </u>	4 水槽のマンホール	屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。
01 77 07 1 0 1 10 1	◆ その他水質等(◆ 雑用水 ◆ 空調用流体		!	(長辺 1 5 0 0 mmを超えるものはアングルフランジエ法とする。)	8	1 配管材料 	(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管
31 アスベスト含有建材の処理	加理を行うマフペット会方連サの共祥等		!	● アングルフランジエ法 ■ 昨ル区両太常温オスがカトけ、その常温オス部公の前後150mm た1 らmm 原細垢制レオス	排		(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管
	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		15 吹出口・吸込口	● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後 1 5 0 mmを 1. 6 mm厚鋼板製とする。 ボックス ※ 西公笠板制 ● グラスウール制	7k		● 耐火二層管 (ウ)ポンプ排水等 ● VP(水道田) ● HIVP ● 排水田作ビライーング細等(圧送排水網等田継毛)
	XEM W と 17 回 77 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製	設		(ウ)ポンプ排水管 ● VP (水道用) ● HIVP ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水鋼管用継手) (エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管
	 		16 チャンバー等	ンーリンクティノューサーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。	供		(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU(地中) ● REP-VU(地中)
			!	接続するダクトの施工が困難な場所はプレキンプルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、(長さ+100) × 300 × 300Hの接続チャンパーを設ける。	VĦ		(オ) 産外排水官 ● VP ● RF-VP ● VU (地中) ● REP-VU (地中) ● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管
	※ 宗有施設の石楠麻云寺に味る施工来省の登録制度による登録を受けている来名を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する		!	「株仏吹田山には、 (長さ+100) × 300 × 300 Hの接続デャンハーを取りる。		2 満水試験継手	RS = V U ● 卵形官 ● コングリート官3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
	法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。		17 消音内貼り	吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。		3 パイプシャフト内配管の保温	
	 ● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 		(1) [1] [2]	内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。		4 煙試験	※ 行わなくてもよい • 図示の系統のみ行う
	分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。		!	吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口(原則400×600)を取付ける。		1 配管材料	SGP-HVA◆ ステンレス鋼管◆ 架橋ポリエチレン管
	● アスベスト粉じん濃度測定を行う。		18 瞬間流量計及び流量測定口	形式はピトー管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式	9		 ◆ 保温付被覆銅管 ◆ 銅管
	(測定時期: 測定場所: 測定点:)		!	下記の箇所、若しくは図示により取付ける。	給		湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
	● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。		!	◆ 冷凍機類の冷水出口◆ 瞬間流量計◆ 測定用タッピング	湯む	2 弁類	% 5 K • 10 K
	● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。		!	 ◆ 冷凍機類の冷却水出口 ◆ 瞬間流量計 ◆ 測定用タッピング 	備		
	対象箇所 (!	 ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	10	1 配管材料	(ア)-般配管 • SGP(白) • STPG
32) 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。		!	● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング	10		(イ) 土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
33 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。			● ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング	消		(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
34 はつり工事における非破壊検査	探査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査	1	19 定風量・変風量ユニット 20 温度計	● メカニカル形 ● 風速センサー形	火	2 弁類	¥ 10K • 16K
35 室内空気中の化学物質の濃度測定	実施する。		20 温度計 21 冷温水管の空気抜き	横器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。	設	3 保温	(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する
③6) 火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。		21 市価小官の主気扱さ	至	備		(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する
	(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)		,	○ 「型」 ● 日型 自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))			(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別 e 3 · (ハ) · WIIによる)
③⑦ グリーン購入	グリーン購入は次のもとのする。		!	機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。			● 屋内消火栓用(※ 施工しない ●施工する) ● スプリンクラー用(※ 施工しない ●施工する)
	● 空調用機器 (パッケージエアコン) ● 衛生器具 (22 空調機用トラップ	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製			● 連結送水用 (※ 施工しない ●施工する) ● 連結散水用 (※ 施工しない ●施工する)
	● 断熱材 (● 再生硬質ポリ塩化ビニル管)	1	23 鋼板製煙道	材質及び厚さ ◆ SS400(※3.2mm ◆ 4.5mm) ◆ SUS(※1.5mm ◆ 2.0mm)		4 屋内消火栓	● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号)
	● その他 ()) ´		TO SHIMOUTE	「		5 ガス系消火剤の種類	• 窒素 • IG-541 • IG-55 • HFC-227ea • HFC-23
38 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事		!	煤じん量測定口(80 0 × 2)		6 ガス系消火の起動方式	※ 手動 ● 自動手動切替式
	対象工事		24 オイルサービスタンク	油面計はゲージ式(側圧計)とする。	11	1 都市ガス設備	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造	1	25 地下オイルタンク	据付け方法	_L*	2 配管材料	(ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管
	者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。		· · ·	タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト	⁷		(イ) 土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
	(1)機器の据付け及び取付け		!	基礎杭	^ス		(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管
	設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [kN] に、		!	±留め工事	設	3 ガスメータ	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)
	地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。		!	タンクローリー用アース端子を設ける。	備	A . S	● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)
	設計用標準水平震度 (●) 特定の施設 ● 一般の施設 B置場所 機器種別 ● 重要機器 (●)一般機器 ● 重要機器 ● 一般機器		26 油面制御装置	油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●		4 バルク貯槽	● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取
	上層階 機 器 2.0 1.5 1.5		27 フィルター等付属品	● 機器表特記による。		5 容器廻りの配管	標準図(施工73)の要領(a)要領(b)要領(c)
[エ 間 階 屋上、塔屋 防振設置機器 2.0 2.0 1.5		!	● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。		6 容器転倒防止	標準図(施工74)の● 要領(a)● 要領(b)
		1	②8 パッケージ空調機の能力表示	インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。	-	7 ガス漏れ警報器	● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)
	水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0	1	29 防振吊り及び支持金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	. 12	1 処理種別及び方式 	 小規模合併処理(● 分離接触ばつ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばつ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばつ気方式 ● その他性能延価を受けた方式(
	水 帽 類 2.0 1.5 1.5 1.0 機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0	.			-	I	● その他性能評価を受けた方式 ())))))
	機器 1.5 1.0 1.0 0.6	\vdash	1 ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製 (厚1.6mm)	浄		● 合併処理 (● 接触げっ気方式 ■ 長時間げっ気大式 ■ 同転板控酬大学)
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水 槽 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.6 0.4	4	1 ダクト2 排煙口	※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製 (厚1.6mm) 形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形	浄 化	2 型式	● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式) ● ユニット型 ● 現場施工型
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水 槽 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.4 地階・1階 防振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6	4				2型式3処理能力	■ ユニット型■ 現場施工型
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水 槽 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.6 0.4	4 排煙		形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形	槽	2 型式 3 処理能力 4 放流水の水質	1.11
	中間階 機器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 地階・1階 1.0 1.0 1.0 0.6 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6	4 排煙設備	2 排煙口	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付	槽	3 処理能力	● ユニット型● 現場施工型● 処理対象人員● 処理水量m3/d
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 地階・1階 防振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層 2階、10~12階建:上層 3階、13階建以上:上層 4階	4 排煙設備	2 排煙口3 排煙口開放及び復帰方式4 排煙風量測定1 中央監視制御盤装置	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ● 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 ● 有り (構成機能は、図示による) ● 無し	槽	3 処理能力	 ユニット型 処理対象人員 流入BOD 200mg/L 放流水質BOD 20mg/L以下
	中間階 機器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 地階・1階 1.0 1.0 1.0 0.6 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層2階、10~12階建:上層3階、13階建以上:上層4階中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	4 排煙設備 5 自	2 排煙口3 排煙口開放及び復帰方式4 排煙風量測定1 中央監視制御盤装置2 電源装置	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 ● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し ● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要	槽	3 処理能力 4 放流水の水質	 ユニット型 処理対象人員 流入BOD 200mg/L 放流水質BOD 20mg/L以下 T-N mg/L以下 T-P mg/L以下
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 防振設置機器 1.0 0.6 0.6 0.4 防振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 防振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 比階・1階	4 排煙設備 5 自	 排煙口 排煙口開放及び復帰方式 排煙風量測定 中央監視制御盤装置 電源装置 温度調節器等 	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 ● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し ● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm	槽	3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式	 ユニット型 処理対象人員 流入BOD 200mg/L 放流水質BOD 20mg/L以下 T-N mg/L以下 T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ・ ボンブ排水 ・ 砂 ・ 根切土の中の良質土 ・ 不更
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 0.6 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.6 0.4 ・ 地階・1階	4 排煙設備 5 自	2 排煙口3 排煙口開放及び復帰方式4 排煙風量測定1 中央監視制御盤装置2 電源装置	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ● 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 ● 有り (構成機能は、図示による) ● 無し ● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm ● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。	槽	3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式 6 埋戻し土	 ユニット型 処理対象人員 流入BOD 200mg/L 放流水質BOD 20mg/L以下 T-N mg/L以下 T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ・ ボンブ排水 ・ 砂 ・ 根切土の中の良質土 ・ 不更
	世 間 階 機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 1.0 0.6 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.6 0.4 以 時 報 1.0 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 以 情 類 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0	4 排煙設備 5 自	 排煙口 排煙口開放及び復帰方式 排煙風量測定 中央監視制御盤装置 電源装置 温度調節器等 	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 ● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し ● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm	槽	3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事	 ユニット型 処理対象人員 流入BOD 200mg/L 放流水質BOD 20mg/L以下 T-N mg/L以下 T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ・ ポンブ排水 ・ 砂 ・ 根切土の中の良質土 ・ 不要 ・ 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ・ MHA型(ボルト式)
	世 間 階 機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 1.0 0.6 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 地階・1階	4 排煙設備 5 自	 排煙口 排煙口開放及び復帰方式 排煙風量測定 中央監視制御盤装置 電源装置 温度調節器等 	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ● 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 ● 有り (構成機能は、図示による) ● 無し ● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm ● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。	槽	3 処理能力4 放流水の水質5 排水方式6 埋戻し土7 土留め工事8 マンホールふた	 □ ユニット型 ● 処理水量 ● 処理水量 ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ポルト式) 3ヶ月相当分を納入する。
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 0.6 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 世階・1階 財振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0	4 排煙設備 5 自	 排煙口 排煙口開放及び復帰方式 排煙風量測定 中央監視制御盤装置 電源装置 温度調節器等 	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ● 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 ● 有り (構成機能は、図示による) ● 無し ● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm ● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。	槽	3 処理能力4 放流水の水質5 排水方式6 埋戻し土7 土留め工事8 マンホールふた	 ユニット型 処理対象人員 が流入BOD 200mg/L が流水質BOD 20mg/L以下 T-N mg/L以下 T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ・ ポンプ排水 ・ 砂 ・ 根切土の中の良質土 ・ 不要 ・ 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ・ MHA型(ボルト式)
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 1.0 0.6 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 0.6 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 世階・1階 財振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置機器 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.4 財務設置 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0	4 排煙設備 5 自	 排煙口 排煙口開放及び復帰方式 排煙風量測定 中央監視制御盤装置 電源装置 温度調節器等 	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形 取付け ● 天井取付 ● 壁取付 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 ● 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 ● 有り (構成機能は、図示による) ● 無し ● 要 (● 本工事 ● 別途工事) ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm ● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。	槽	3 処理能力4 放流水の水質5 排水方式6 埋戻し土7 土留め工事8 マンホールふた	 ユニット型 処理対象人員 流入BOD 200mg/L 放流水質BOD 20mg/L以下 T-N mg/L以下 T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ・ ボンブ排水 ・ 砂 根切土の中の良質土 ・ 不要 ・ 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) MHA型(ボルト式) 3ヶ月相当分を納入する。
	機 器 1.5 1.0 1.0 0.6	4 排煙設備 5 自動制御設備	2 排煙口 3 排煙口開放及び復帰方式 4 排煙風量測定 1 中央監視制御盤装置 2 電源装置 3 温度調節器等 4 計装工事の配線	形状 • パネル形 • スリット形 • ダンパー形 取付け • 天井取付 • 壁取付 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 • 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 • 有り (構成機能は、図示による) • 無し • 要 (• 本工事 • 別途工事) • 不要 取付高さ ※ 1300mm • mm • 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 • 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。	槽 設 備	3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬	 ● ユニット型 ● 処理水量 ● 放流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● オンブ排水 ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式) 3ヶ月相当分を納入する。
	機器 1.5 1.0 1.0 0.6	4 排煙設備 5 自動制御設備 建築	2 排煙口 3 排煙口開放及び復帰方式 4 排煙風量測定 1 中央監視制御盤装置 2 電源装置 3 温度調節器等 4 計装工事の配線	形状 • パネル形 • スリット形 • ダンパー形 取付け • 天井取付 • 壁取付 電気式 (遠隔操作 ※ 不要 • 要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。 • 有り (構成機能は、図示による) • 無し • 要 (• 本工事 • 別途工事) • 不要 取付高さ ※ 1300mm • mm • 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 • 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。	槽 設 備	3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬	 ● ユニット型 ● 処理水量 ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● オンブ排水 ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式) 3ヶ月相当分を納入する。



・管理特別教室棟1階保健室のパッケージエアコン及び休憩室のルームエアコンを更新する。 ・上記に伴う配管等の更新





配置図 S=1/1,000



工事建物を示す





一級建築士事務所

鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号 管理技術者

承 認

担 当 角田

縮 尺 1/1,000(A2) 設計年月日 2024. 3

工事名称 県立倉吉東高等学校保健室ほかエアコン更新工事 図面名称 配置図・付近見取図

図面番号 M-04 05

冷暖房設備機器表(改修後)

記号	名称	機器仕様	電気容量 (参考)	数量	備考
	パッケージエアコン	天吊形 80型	3 φ × 200V	1	設置場所:保健室
ACP		定格冷房能力: 7.1kW(1.5~8.0kW) 定格暖房能力: 8.0kW(1.1~10.0kW)	COMP:1.8kW		基礎: 既設再利用
5		ワイヤードリモコン、転倒防止金物×2	FAN内: 0.055kW		
【新設】		屋外機用鋼製平架台300H (溶融亜鉛メッキ) 、その他標準付属品共	FAN外: 0.064kW		
	マルチ型	定格冷房能力: 4. 6kW 定格暖房能力: 5. 4kW	1 φ × 200V	1	設置場所:屋外
AC	ルームエアコン	転倒防止金物×2、屋外機用鋼製平架台500H(溶融亜鉛メッキ)、	COMP: 1. 2kW		
2	(室外機)	その他標準付属品共	FAN: 0.05kW		
【新設】					
	マルチ型	壁掛形 標準品	1 φ × 200V	2	設置場所:女子・男子休養室
AC	ルームエアコン	定格冷房能力: 2. 2kW 定格暖房能力: 3. 2kW	FAN: 0.040kW		
2-1	(室内機)	ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共			
【新設】					

特記事項

※ACP-5の機器の電源再接続は本工事とする。

※ACP-2の電源改修は次の項目を見込む。①分電盤LA-11ブレーカ撤去: 2P20A100V×1台 ②分電盤LA-11ブレーカ新設: 2P20A200V×1台 ③機器の電源再接続

※図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。

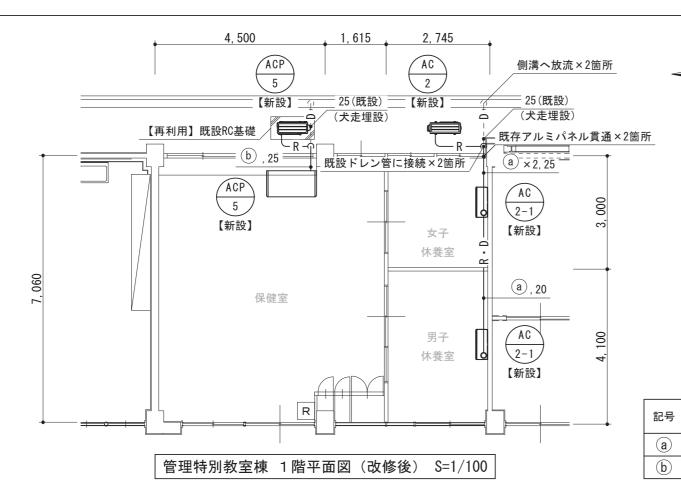
※冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。

※パッケージエアコンはグリーン購入法適合品とする。

※パッケージエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。

※ルームエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS C 9612に規定された定格条件による。

※インバータータイプの冷房・暖房能力は定格値、()内が能力変化の参考値を示す。



冷暖房設備機器表(改修前)

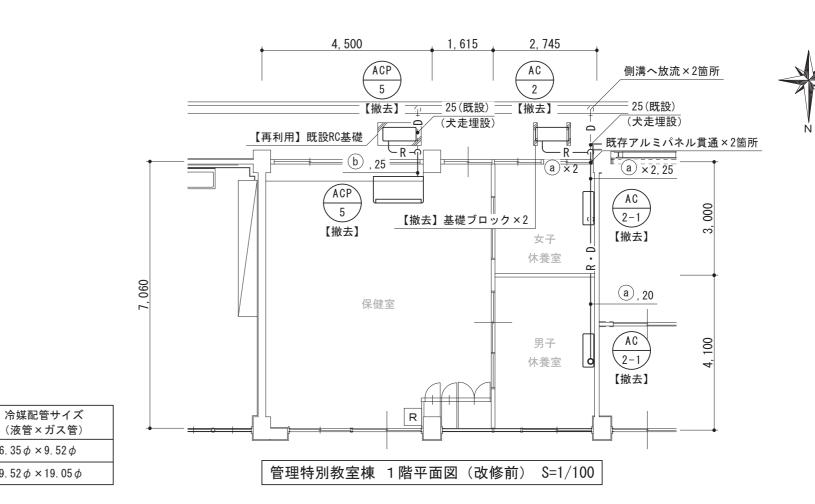
記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考
	パッケージエアコン	天吊形 冷房専用	3 φ × 200V	1	設置場所:保健室
ACP		定格冷房能力: 8. 0kW	COMP: 2. 4kW		品番:PC-J80GAG(三菱電機)
5		ワイヤードリモコン、平架台300H、その他標準付属品共	FAN内: 0.07kW		
【撤去】		冷媒量: 3.3kg (R22) 製品重量: 34kg (室内機) 、75kg (室外機)	FAN外: 0.06kW×2		
	マルチ型	定格冷房能力: 3.8kW 定格暖房能力: 4.4kW	1 φ × 100V	1	設置鵝腕基礎外1150W×600D×210H
AC	ルームエアコン	平架台300H、基礎ブロック×2、その他標準付属品共	COMP: 1. OkW		品番:MXZ-3816 (三菱電機)
2	(室外機)	冷媒量: 1.45kg (R22) 製品重量: 45kg	FAN内: 0.019kW×2		
【撤去】			FAN外: 0.031kW		
	マルチ型	躄掛形 房能力: 2. 2kW 定格暖房能力: 3. 0kW	1 φ × 100V	2	設置場所:女子・男子休養室
AC	ルームエアコン	ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共	COMP: 1. OkW		品番:MSZ-2216X-W×2(三菱電機)
2-1	(室内機)	製品重量: 8kg	FAN内: 0.019kW×2		
【撤去】			FAN外: 0.031kW		

特記事項

※撤去するエアコンの既設冷媒は適正に処理すること。

※機器電源の離線は本工事とする。

※ルームエアコンは家電リサイクル法に基づき適正に処分をすること



凡例

名称

冷媒管

特記事項

※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。

※図中特記無き配管は露出配管とする。

※図中の各配管の口径・ルート等は、再度既設設備を確認のうえ施工すること。

※冷媒管のサイズ、配線仕様は参考とし、採用メーカーにより変更が必要となった場合は 施工者負担で対応すること。

※作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。

※図中、 R はエアコンリモコンを示し、取付は本工事とする。

※リモコン用スイッチボックス(2個用)と立下げ(MMA)は再利用する。

※リモコン配線は既設再利用する。

※エアコン内外渡り配線は本工事にて敷設する。

※エアコン内外渡り配線はEM-EEF2.0-3C+EM-IE2.0 (冷媒共巻) とする。

※樹脂製保温化粧ケースの屋外部分は新設し、AC-2系統の屋内部分は再利用する。 ※既設RC基礎等に設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施すること。 凡例

記号

(b)

6. $35 \phi \times 9.52 \phi$

9. $52 \phi \times 19.05 \phi$

冷媒配管サイズ(参考)

(液管×ガス管)

6. $35 \phi \times 9.52 \phi$

9. $52 \phi \times 15.88 \phi$

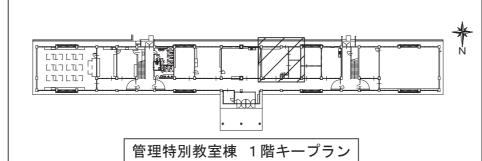
保温・外装

屋内:保温チューブ10t(冷媒外装共巻き)

樹脂製保温化粧ケース

屋外:なし・冷媒外装共巻き

記号	名称	管種	保温・外装
— R —	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (銅管: JCDA-0009)	樹脂製保温化粧ケース
D	ドレン管	屋内一般: VP(JIS-K6741)	屋内:保温チューブ10t(冷媒外装共巻き) 屋外:なし・冷媒外装共巻き



※図中の太線は撤去対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。

※図中特記無き配管は露出配管とする。

※図中、 R はエアコンリモコンを示し、撤去する。

※リモコン用スイッチボックス(2個用)と立下げ(MMA)は再利用する。

※リモコン配線は既設を再利用する。

※ACP-5系統のエアコン内外渡り配線 (VVF2.0-3C+AE0.9-2C [冷媒共巻]) は本工事にて撤去する。

※AC-2系統のエアコン内外渡り配線 (VVF2.0-3C [冷媒共巻]) は本工事にて撤去する。

※樹脂製保温化粧ケースの屋外部分は撤去し、AC-2系統の屋内部分は再利用する。



Mechanical&Electrical Engineers

一級建築士事務所

管種

冷媒用断熱材被覆銅管

ドレン管 屋内一般: VP(JIS-K6741)

鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号



(谷) (川)



作	図
F	ill i



1/100 (A2) 設計年月日 2024. 3

県立倉吉東高等学校保健室ほかエアコン更新工事



一級建築士事務所/建築設備設計事務所

管理特別教室棟 冷暖房設備 1 階平面図(改修後)·(改修前)

M-05